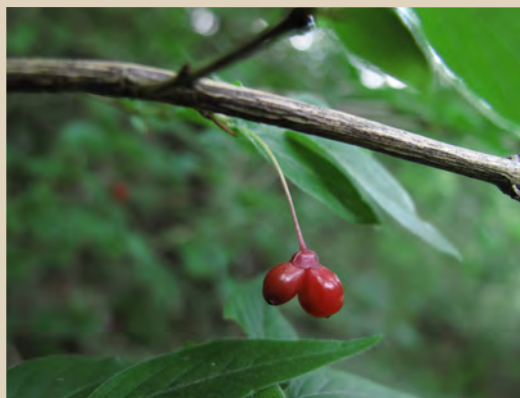
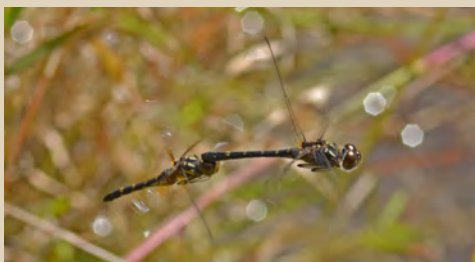
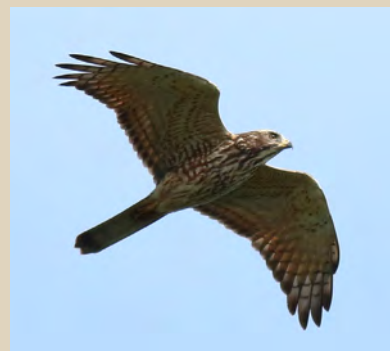


神戸の希少な 野生動植物

神戸版レッドデータ2015



目次

はじめに 1

1 生物多様性について 2

2 神戸市の動植物の概要 3

哺乳類、鳥類、爬虫類・両生類、魚類、昆虫類、甲殻類、貝類、植物

3 神戸版レッドリスト2015 7

- 選定対象生物群
- カテゴリー
- 選定理由
- 選定結果
- 神戸版レッドリスト2015

4 神戸版ブラックリスト 2015 28

- 選定対象生物群
- カテゴリー
- 選定結果
- 神戸版ブラックリスト2015

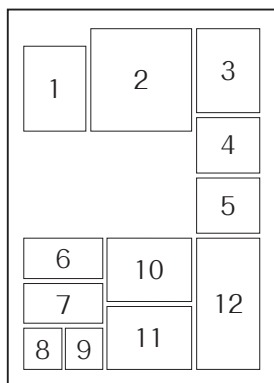
5 神戸市での保全の取り組み 32

6 おわりに 33

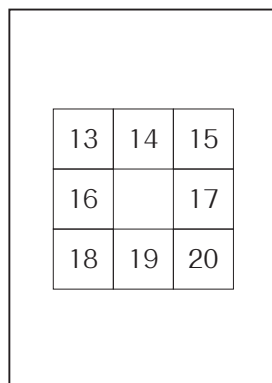
- 「神戸版レッドデータ2015」の検討体制

索引 34

表紙写真



裏表紙写真



- 1 カヤラン(Aランク)
- 2 ヤマセミ(Aランク)
- 3 ムラサキセンブリ(Aランク)
- 4 トモエソウ(Bランク)
- 5 サシバ(Aランク)
- 6 マダラナニフトンボ(今見られない)
- 7 ムギツク(Aランク)
- 8 クロベンケイガニ(Cランク)
- 9 コオニユリ(Bランク)
- 10 キンキヒョウタンボク(Aランク)
- 11 草原生植物観察会
- 12 昆虫調査する少年たち
- 13 オカオグルマ(Bランク)
- 14 海浜植物群落(須磨浦)(Bランク)
- 15 ナガボノワレモコウ(Aランク)
- 16 ヒクイナ(Bランク)
- 17 ニホンイシガメ(Bランク)
- 18 ミヤマクマワラビ(Bランク)
- 19 コジイ群落(太山寺)(Aランク)
- 20 フッキソウ(Bランク)

はじめに

神戸市は、緑豊かな六甲山、瀬戸内海と多くの河川、豊かな田園地帯などを有する自然に恵まれた都市です。多種多様な自然環境があることから、多くの生きものを育んできました。しかし、人間活動が地球規模で影響を与える時代となり、私たちの行動に起因して自然環境の破壊や種の減少・絶滅が進行しています。

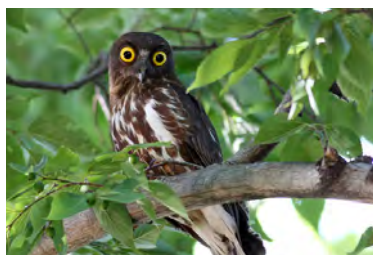
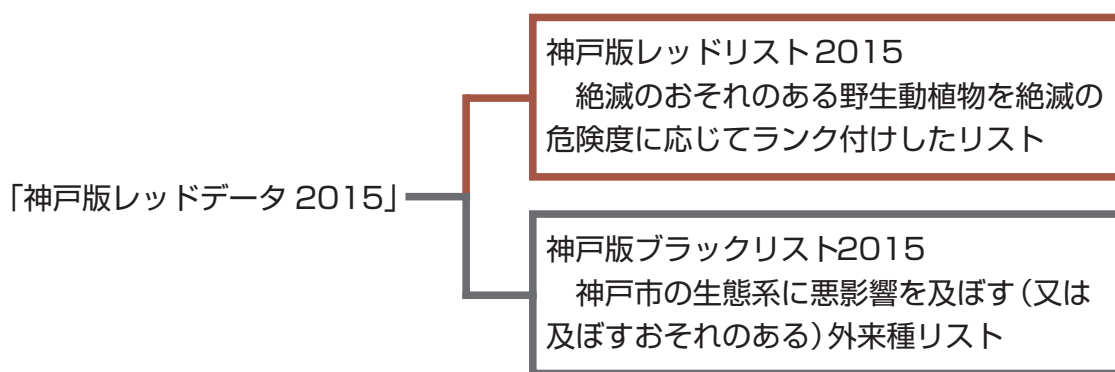
生物多様性には、「生態系の多様性」「種の多様性」「遺伝子の多様性」といった3つのレベルでの多様性があるとされています。神戸市の生物多様性を支えるのは神戸市に生息・生育する様々な生きものです。

神戸市では、これまでに蓄積してきた動植物データをもとに、平成22年に絶滅のおそれのある野生動植物をその危険度に応じてランクづけしたリストである神戸版レッドリスト2010(以下「レッドリスト2010」)と生態系に悪影響を及ぼす(又は及ぼすおそれのある)外来種リストである神戸版ブラックリスト2010(以下「ブラックリスト2010」)をとりまとめた「神戸の希少な野生動植物－神戸版レッドデータ2010－」(以下「神戸版レッドデータ2010」)を作成しました。

公表から5年を経過し、現在の神戸市における動植物の生息・生育状況を正確に反映するため、レッドリスト2010とブラックリスト2010の見直しを行い、改訂版にあたる「神戸の希少な野生動植物－神戸版レッドデータ2015－」(以下「神戸版レッドデータ2015」)を作成しました。

この冊子により市内の生物の状況を知っていただき、さらには神戸市の生物多様性を守り、向上させるための資料として活用されることを期待します。

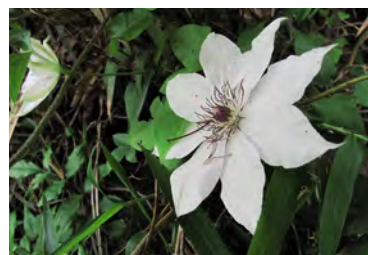
冊子の構成



アオバズク(Bランク)



シュレーゲルアオガエル
(Cランク)



カザグルマ(Aランク)

1 生物多様性について

生物多様性とは

この地球上には、森、川、海、里地などの多種多様な環境があり、それぞれの自然環境に適応して進化した多くの生きものが、互いにつながりあい、支えあって暮らしています。

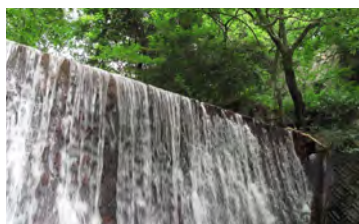
生物多様性には、次の3つの多様性があります。

- ①生態系の多様性 生きものが生息・生育するための様々な自然環境があること
- ②種の多様性 微生物から動植物にいたるまでの多種多様な生きものがいること
- ③遺伝子の多様性 同じ種の中でも遺伝子レベルでの多様性(多様な個性)があること

生物多様性の恵み(生態系サービス)

生物多様性は知らず知らずのうちに多くの恵みを私たちに与えてくれます。これは生態系サービスとも呼ばれ、次のようなものがあります。

- ①大気と水 全ての生命の生存基盤である大気や水の浄化と安定的な供給(基盤サービス)
- ②暮らしの基礎 食料、木材などのほか医薬品原料などの提供・供給(供給サービス)
- ③文化の多様性 自然や生きものと一体となった地域固有の伝統文化の醸成(文化的サービス)
- ④暮らしを守る 洪水や土砂災害などの軽減・防止(調整サービス)



きれいな水の安定供給



ため池でのジュンサイ採り



洪水の軽減や防止

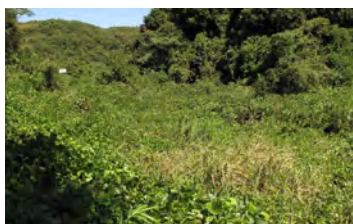
生物多様性の危機

人間活動の影響により、世界的に見ても生物種の絶滅速度が極端に速くなっていることが指摘されています。今、生物多様性は4つの危機にさらされています。

- ①第一の危機 人間活動や開発などの直接的な原因による種の減少・絶滅、生息地や生育地の破壊
- ②第二の危機 里地里山など人間の継続的な働きかけが行なわれなくなったことによる自然の質の低下
- ③第三の危機 人間が持ち込んだ外来種や化学物質による生態系の攪乱
- ④第四の危機 地球温暖化による危機で、気温の上昇により、地球規模でおこる生息・生育環境の変化による種の衰退や生態系の崩壊



山を切り開いて造成された団地



耕作放棄された水田



生態系を破壊する外来魚のオオクチバス等

2 | 神戸市の動植物の概要

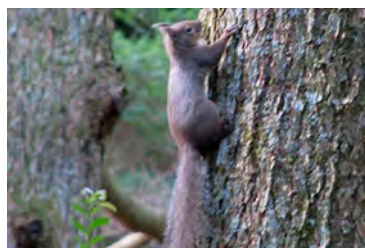
神戸市には海、森林、里地に広がる農耕地や草地、ため池、湿地、山から海へと流れる川など多くの自然があります。また、市街地や公園にも生きものが生息・生育しています。

これまでに、神戸市内では、哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類、昆虫類、甲殻類、貝類などの動物が5,242種、シダ及び種子植物が2,420種、合計7,662種の生きものが確認されています。

区分	分類	確認種数(今回)		確認種数(前回)	
		科	種	科	種
動物	哺乳類	15	33	15	28
	鳥類	74	290	60	279
	爬虫類	11	19	9	19
	両生類	8	17	7	17
	魚類(淡水・汽水産)	19	73	17	62
	昆虫類	391	4566	370	3807
	甲殻類	16	42	-	-
	貝類(陸産)	25	111	-	-
	貝類(淡水・汽水産)	49	91	-	-
動物 計		608	5242	478	4212
植物(シダ植物・種子植物)		186	2420	187	2396
合計		794	7662	665	6608

哺乳類

タヌキやキツネなど33種が確認されています。主に低山地から平地にかけて生息する種で構成されています。六甲山ではムササビが確認されて話題となりました。一方では、ニホンイノシシや特定外来生物*であるアライグマによる農業等の被害が発生しています。近年シカの侵入も確認されています。



ニホンリス(Bランク)



スミスネズミ(Aランク)



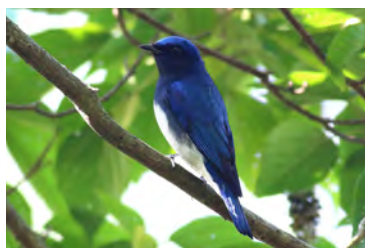
アライグマ(外来生物種)

*特定外来生物

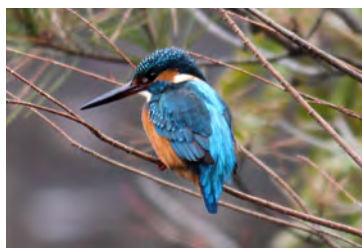
外来生物のうち「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(環境省)で指定されている生態系に害を及ぼす可能性のある生物

鳥類

オオルリやカワセミなど290種が確認されています。神戸市には海、山、田園など多様な生息環境があることから多くの鳥類が確認されています。また、旅鳥の中継地や冬鳥の越冬地としての利用が多く見られます。一方では、カラス類、ハト等による生活環境や農作物への被害があります。



オオルリ



カワセミ



コサギ(Bランク)

爬虫類

シマヘビやニホンイシガメなど爬虫類19種が確認されています。神戸市には海、川、農耕地、樹林など様々な環境があるため、アカウミガメやニホントカゲ、アオダイショウなど生活環境に応じて様々な爬虫類が確認されています。一方、カミツキガメなどの特定外来生物も確認されています。



ニホンイシガメ(Bランク)



ヒバカリ(Bランク)



ジムグリ(Bランク)

両生類

イモリやトノサマガエルなど両生類17種が確認されています。北区の溪流にはヒダサンショウウオが、西区の田園地帯にはナゴヤダルマガエルが生息するなど、神戸市には多様な水辺環境があることを示しています。しかし、耕作されていない農地の増加による生息場所の消失が懸念されています。



カスミサンショウウオ(Bランク)



ニホンヒキガエル(Cランク)



モリアオガエル(Bランク)

魚類(淡水・汽水産)

ギンブナやオイカワなど73種が確認されています。市内には大きな河川がなく、魚類の利用できる汽水域が限られることなどから、確認種類数は多くはありません。北区、西区の田園地帯を中心に、ミナメダカが広く分布していますが、個体数の減少が危惧されます。オオクチバス等の魚食性外来魚の定着が、ため池の魚類などに大きな影響を及ぼしています。



シロヒレタビラ(Aランク)



カワバタモロコ(Aランク)



クロヨシノボリ(Bランク)

甲殻類

陸水域から河口域までの環境ではミナミテナガエビ、ヨモギホンヤドカリ、アシハラガニなど42種が確認されています。山間部は比較的良好な環境が保たれている一方、河口域の多くは護岸されているために種数が少なく、外来種の占める割合が高くなります。



ミナミテナガエビ(Cランク)



ヨモギホンヤドカリ
(Cランク)



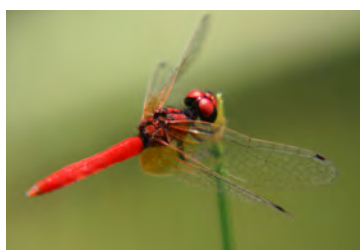
アシハラガニ(Bランク)

昆虫類

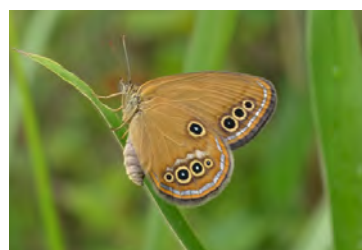
変化に富んだ地形と環境から、多くの昆虫4,566種が確認されています。六甲山の山上部ではルリボシヤンマやエゾゼミのような冷温帯域に生息する昆虫が見られます。その一方で、ナガサキアゲハや台湾ウチワヤンマなどの南方系の昆虫が市内に広く定着しています。水辺や草原、海浜に生息する昆虫の減少傾向が顕著です。



エゾゼミ(Cランク)



ハッチョウトンボ(Bランク)



ヒメヒカゲ(今見られない)

貝類(陸産)

ナミギセル、ナメクジなど陸産貝類111種が確認されています。また、13種の模式産地(新種を記載・発表するときに使った標本を採取した場所)があります。模式産地の多さは幕末から明治にかけて神戸港より来日した西洋人が採集し、持ち帰って新種として報告したためです。

ヌノビキケマイマイ、マヤサンマイマイなど神戸市の地名にちなんだ名前の種は、近年発見された神戸の固有種(神戸にのみ生息する種)です。



ギュウリキマイマイ(Bランク)



ヌノビキケマイマイ(Aランク)



マヤサンマイマイ(Aランク)

貝類(淡水・汽水産)

陸水域から河口域までの水環境ではヒメタニシ、ウミニナなど91種が確認されています。河口域の多くは護岸されているため、潜砂性の貝類は非常に少ないのが現状です。山間部の環境は比較的良好ですが、一部の水田には外来種のスクミリンゴガイが定着しています。



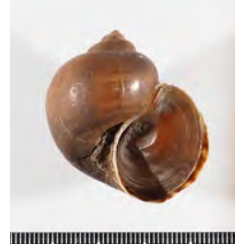
ウミニナ (Aランク)



ウネナシトマヤガイ (Cランク)



マルウズラタキビガイ (Cランク)

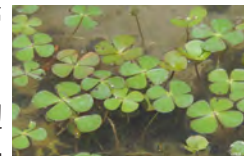


スクミリンゴガイ(外来生物種)(右は卵塊)



植物

シダ植物、種子植物で2,420種が確認されています。六甲山頂付近は冷温帯域に属して、ブナ、ミズナラなどが生育し、中腹部では暖温帯域のシイ・カシ林も見られるなど多様な植生が見られます。六甲山や丹生山地の山麓及びその周辺の丘陵地にはコナラを主体とした二次林が多く見られますが、十分な里山管理が行われなくなり、常緑樹林化が進み、草地環境が急速に減っています。



デンジソウ(Aランク)

河川では、明石川流域には絶滅危惧種のタコノアシが見られるものの、市内の多くの河川では外来植物のオランダガラシなどが多く生育しています。また市内には約3,400ヶ所のため池と多くの水田があり、多種多様な水生植物や湿地植物が生育しています。



ハマヒルガオ

さらに、丹生山地や大岩岳南部の低山地の有馬層群を中心に、大小多数の湿地があり、トキソウやサギソウに代表される湿地植物が生育しています。



カワラナデシコ (Cランク)

西部海域に残る海浜では、ハマヒルガオやハマゴウなどの海浜植物も見られます。

コラム イノシシやシカによる生態系被害

神戸市では、イノシシやシカによる農業への被害、生態系への被害が起こっています。イノシシは市街地にも出没して、人を襲うなどの被害が出ています。



市街地にも出没するイノシシ

また、草食性のシカは現時点では六甲山では確認されていませんが、里山ではリンドウやエビネ(Cランク)などが食べられている事例もあります。シカの生息密度が高まる

と森林では林床の植物がなくなり、生物多様性が失われるだけでなく、土砂の流出などによる私たちの生命にもかかわる被害が発生するおそれがあります。

3 | 神戸版レッドリスト2015

I 選定対象生物群

神戸版レッドリスト2015では、レッドリスト2010の選定対象生物群に新たに甲殻類、貝類を追加し、以下の生物群を選定対象としました。なお、魚類、甲殻類、貝類は淡水、汽水に生息する生物を対象としました。

動物	哺乳類・鳥類・爬虫類・両生類・魚類・昆虫類・甲殻類・貝類
植物	シダ植物・種子植物
その他	植物群落・鳥類サンクチュアリ

II カテゴリー

■ 動物(哺乳類・鳥類・爬虫類・両生類・魚類・昆虫類・甲殻類・貝類)

■ 植物(シダ植物・種子植物)

カテゴリー		概要	環境省レッドリストとの対応関係	
1	今見られない	今	神戸市内での確認記録、標本があるなど、かつては生息・生育していたと考えられるが、現在は見られなくなり、生息・生育の可能性がないと考えられる種	絶滅 野生絶滅
2	A ランク	A	神戸市内において絶滅に瀕している種など、緊急の保全対策、厳重な保全対策が必要な種	絶滅危惧Ⅰ類
3	B ランク	B	神戸市内において絶滅の危機が増大している種など、生息・生育環境、自生地などの保全が必要な種	絶滅危惧Ⅱ類
4	C ランク	C	神戸市内において存続基盤が脆弱な種。極力、生息・生育環境、自生地などの保全が必要な種	準絶滅危惧
5	要調査	調	神戸市内での生息・生育の実態がほとんどわからないことなどにより、現在の知見では貴重性の評価ができないが、今後の調査によっては貴重種となる可能性のある種	情報不足

■ 植物群落

カテゴリー		概要	
1	A ランク	A	規範的、質的にすぐれており、貴重性の程度が最も高く、全国的価値に相当する群落
2	B ランク	B	A ランクに準ずるもので、地方的価値、都道府県の価値に相当する群落
3	C ランク	C	B ランクに準ずるもので、市町村的価値に相当する群落

■ 鳥類サンクチュアリ

カテゴリー	概要
サンクチュアリ	鳥類の生息に重要な役割を持つ生息地であり、その保全を目的とする場所



タゲリ(Bランク)



ニッポンバラタナゴ(Aランク)



アラカシーカゴノキ群落
(布引滝)(Cランク)

■ 選定理由

■ 動物

■ 植物(シダ植物・種子植物)

項目		
重要性	貴重さ	特殊な生息・生育環境
		特殊な生態
		特殊な分布
		分布の限界
		希少性
負の影響		生息・生育環境の悪化
		二次的環境の放置
		地球温暖化による環境変化
		捕獲・採取
		その他の要因

■ 植物群落

項目		
重要性	貴重さ	特殊な立地環境
		特殊な分布
	豊かさ	空間安定性
		種多様性
		自然性
負の影響		風土・景観性
		立地環境の悪化
		二次的環境の放置
		地球温暖化による環境変化

■ 選定結果

動植物871種(動物401種、植物470種)、植物群落58群落、鳥類サンクチュアリ4ヶ所を神戸版レッドリスト2015として選定しました。

■ 神戸版レッドリスト2015選定種

分類	ランク							種数合計
	今	A	B	C	D	要		
動物	哺乳類	0(0)	4(3)	7(4)	1(3)	- (0)	7(6)	19(16)
	鳥類	0(0)	6(6)	45(44)	33(32)	- (2)	10(3)	94(87)
	爬虫類	0(0)	1(1)	5(5)	1(1)	- (3)	2(1)	9(11)
	両生類	0(0)	2(1)	4(5)	5(5)	- (0)	2(2)	13(13)
	魚類(淡水・汽水産)	0(0)	7(4)	8(7)	10(9)	- (4)	5(5)	30(29)
	昆虫類	16(15)	23(21)	27(11)	74(30)	- (39)	52(64)	192(180)
	甲殻類	0 -	5 -	2 -	3 -	- -	0 -	10 -
	貝類(陸産)	0 -	4 -	6 -	4 -	- -	0 -	14 -
貝類(淡水・汽水産)	0 -	9 -	4 -	7 -	- -	0 -	20 -	
植物(シダ植物・種子植物)	43(34)	116(76)	145(128)	131(117)	- (0)	35(53)	470(408)	
合計	59(49)	177(112)	253(204)	269(197)	- (48)	113(134)	871(744)	

※()内はレッドリスト2010での種数、以下の表も同様

レッドリスト2010では「最近減少の著しい種、優れた自然環境の指標となる種などの貴重種に準する要注目種」をDランクとして選定していましたが、神戸版レッドリスト2015では廃止しました。

○ 繁殖・通過・越冬個体群ごとの鳥類レッドリスト選定種

鳥類では、繁殖・通過・越冬の個体群ごとにランクを選定しています。鳥類は移動性が大きく、種ごとにやってくる季節と目的が異なっています(繁殖のために渡来する繁殖個体群、冬を過ごすために渡来する越冬個体群など)。このため鳥類は、目的(個体群)ごとに重要度を判定しています。

種類によっては重複してランクが選定されています。この場合、上記の表では、高い方のランクで表示しています。鳥類の個体群ごとのランクは以下の通りです。

○繁殖・通過・越冬個体群ごとの鳥類レッドリスト選定種

分類	ランク						種数合計	
	今	A	B	C	D	要調査		
鳥類	繁殖個体群	0(0)	5(6)	21(19)	7(7)	- (2)	3(0)	36(34)
	通過個体群	0(0)	0(0)	15(16)	9(10)	- (0)	3(0)	27(26)
	越冬個体群	0(0)	2(1)	13(13)	22(20)	- (1)	6(3)	43(38)

繁殖個体群:神戸市域で繁殖する個体群

通過個体群:渡りのため神戸市域を通過する個体群

越冬個体群:越冬地として神戸市域を利用する個体群

■植物群落

分類	ランク				
	A	B	C	D	合計
植物群落	10(11)	14(10)	34(18)	- (24)	58(63)

■鳥類サンクチュアリ

分類	合計
鳥類サンクチュアリ	4(4)

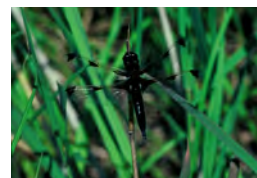
■動植物確認種数と神戸版レッドリスト選定種の割合

分類	確認種数(a)		レッドリスト選定種数(b)		レッドリスト選定率(b/a)		
	今回	前回	今回	前回	今回	前回	
動物	哺乳類	33	(28)	19	(16)	57.6%	57.1%
	鳥類	290	(279)	94	(87)	32.4%	31.2%
	爬虫類	19	(19)	9	(11)	47.4%	57.9%
	両生類	17	(17)	13	(13)	76.5%	76.5%
	魚類(淡水・汽水産)	73	(62)	30	(29)	41.1%	46.8%
	昆虫類	4566	(3807)	192	(180)	4.2%	4.7%
	甲殻類	42	-	10	-	23.8%	-
	貝類(陸産)	111	-	14	-	12.6%	-
	貝類(淡水・汽水産)	91	-	20	-	22.0%	-
動物計	5242	(4212)	401	(336)	7.6%	8.0%	
植物(シダ植物・種子植物)	2420	(2396)	470	(408)	19.4%	17.0%	
合計	7662	(6608)	871	(744)	11.4%	11.3%	

コラム 神戸で見られなくなった生きもの

かつては神戸で見られたのに、今では見られなくなった生きものがあります。いわゆる絶滅種です。「神戸版レッドデータ2010」の作成時から、これらの種が市内のどこかに生き残っていてほしいという願いも込めて「今見られない」種と呼んでいます。「神戸版レッドデータ2015」では59種が選定されています。これらの種は、特殊な環境でしか生きられず、生息・生育に適した環境が失われたり、希少なためマニアなどによって過剰に採取が行われたことなどが、絶滅の大きな要因となっています。










これ以上「今見られない」種を増やさないために、様々な主体が協力して生きものの生息・生育環境の保全に取り組むことが大切です。



ベッコウトンボ
(今見られない)

神戸版レッドリスト2015

リストの見方は以下の通りです。

- 兵庫県RDB
兵庫県RDB(兵庫県版レッドデータブック)
2003 哺乳類、爬虫類(2015一部追加)、両生類、魚類
2010 植物・植物群落
2012 昆虫類
2013 鳥類
2014 貝類、その他無脊椎動物
絶滅:絶滅 A:Aランク B:Bランク C:Cランク
要注目:要注目種 調:要調査種
- 環境省RL2015
環境省RL2015(環境省レッドリスト2015)
EX:絶滅 CR:絶滅危惧ⅠA類 EN:絶滅危惧ⅠB類
VU:絶滅危惧Ⅱ類 NT:準絶滅危惧 DD:情報不足
- ランクの変更
↑ 神戸版レッドリスト2010よりランクが上がった種
↓ 神戸版レッドリスト2010よりランクが下がった種
追加 神戸版レッドリスト2010に新たに追加された種
○ 神戸版レッドリスト2010要調査からランクが確定した種
△ 神戸版レッドリスト2015において要調査に変更した種
- 主な生息・生育環境
 森  雑木林  水田・畑
 草地・岩場  ため池  湿地
 河川  海辺  街

■ 哺乳類(19種)

No.	科名	種和名	神戸市2015 ランク	兵庫県 RDB2003	環境省RL 2015	主な生息環境
1	トガリネズミ科	ジネズミ	B		要注目	   
2	トガリネズミ科	カワネズミ	A		要注目	 
3	モグラ科	ヒミズ	B			  
4	モグラ科	コウベモグラ	B	↑		 
5	キクガシラコウモリ科	コキクガシラコウモリ	調			    
6	キクガシラコウモリ科	キクガシラコウモリ	調		調	    
7	ヒナコウモリ科	ユビナガコウモリ	調		調	 
8	リス科	ニホンリス	B			 
9	リス科	モモンガ	調	追加		 
10	リス科	ムササビ	A	追加	B	 
11	ネズミ科	スミスネズミ	A			
12	ネズミ科	ハタネズミ	A			
13	ネズミ科	アカネズミ	C			   
14	ネズミ科	ヒメネズミ	B	↑		 
15	ネズミ科	カヤネズミ	B			
16	イヌ科	キツネ	調			  
17	イタチ科	アナグマ	B	追加	C	  
18	イタチ科	テン	調			 
19	イタチ科	イタチ	調			  

■ 鳥類(94種)

No.	科名	種和名	渡り 区分	神戸市2015ランク				兵庫県 RDB2013	環境省RL 2015	主な生息環境
				繁殖	通過	越冬	ランク の変更			
1	キジ科	ウズラ	冬鳥			調		A	VU	 
2	キジ科	ヤマドリ	留鳥	調			追加	要注目		 
3	カモ科	オシドリ	冬鳥			C		B	DD	  
4	カモ科	ヨシガモ	冬鳥			C				  
5	カモ科	シマアジ	旅鳥		C			C		 
6	カモ科	トモエガモ	冬鳥			B		C	VU	
7	カモ科	シノリガモ	冬鳥			調	追加	B		
8	カモ科	ビロードキンクロ	冬鳥			調		B		
9	サギ科	ヨシゴイ	夏鳥	A				A	NT	  
10	サギ科	ミソゴイ	夏鳥	A				A	VU	  
11	サギ科	ゴイサギ	留鳥	B						  
12	サギ科	ササゴイ	夏鳥	B			↓	C		
13	サギ科	アマサギ	夏鳥	B						  
14	サギ科	ダイサギ	留鳥	B						  
15	サギ科	チュウサギ	夏鳥	B				C	NT	  
16	サギ科	コサギ	留鳥	B						  
17	クイナ科	クイナ	冬鳥			B		調		  
18	クイナ科	ヒクイナ	留鳥	B		C		B	NT	  
19	カッコウ科	ジュウイチ	旅鳥		C			C		 
20	カッコウ科	ホトトギス	夏鳥	B						 

■ 鳥類(つづき)

No.	科名	種和名	渡り区分	神戸市2015ランク				兵庫県RDB2013	環境省RL2015	主な生息環境
				繁殖	通過	越冬	ランクの変更			
21	カッコウ科	ツツドリ	夏鳥	B						
22	カッコウ科	カッコウ	旅鳥		C					
23	ヨタカ科	ヨタカ	夏鳥	B			A	NT		
24	チドリ科	タゲリ	冬鳥			B				
25	チドリ科	ムナグロ	旅鳥		C					
26	チドリ科	イカルチドリ	留鳥	B		B	B			
27	チドリ科	コチドリ	夏鳥	C						
28	チドリ科	シロチドリ	留鳥	B		B	A	VU		
29	セイタカシギ科	セイタカシギ	旅鳥		B		B	VU		
30	シギ科	ヤマシギ	冬鳥			C	B			
31	シギ科	アオシギ	冬鳥			B	B			
32	シギ科	オオジシギ	旅鳥		B		B	NT		
33	シギ科	ハリオシギ	旅鳥		調					
34	シギ科	タシギ	冬鳥			B	B			
35	シギ科	チュウジシギ	旅鳥		B		B			
36	シギ科	オグロシギ	旅鳥		B		B			
37	シギ科	チュウシャクシギ	旅鳥		B					
38	シギ科	ツルシギ	旅鳥		B		B	VU		
39	シギ科	アカアシシギ	旅鳥		B		B	VU		
40	シギ科	コアオアシシギ	旅鳥		B		B			
41	シギ科	アオアシシギ	旅鳥		B		B			
42	シギ科	クサシギ	冬鳥			C				
43	シギ科	タカブシギ	旅鳥		C		B	VU		
44	シギ科	キアシシギ	旅鳥		B					
45	シギ科	ソリハシシギ	旅鳥		B		B			
46	シギ科	トウネン	旅鳥		B					
47	シギ科	オジロトウネン	冬鳥			B	B			
48	シギ科	ヒバリシギ	旅鳥		B		B			
49	シギ科	ウスラシギ	旅鳥		B		B			
50	シギ科	ハマシギ	冬鳥			C	C	NT		
51	シギ科	アカエリヒレアシシギ	旅鳥		B		調			
52	タマシギ科	タマシギ	留鳥	B		B	B	VU		
53	ツバメチドリ科	ツバメチドリ	旅鳥		C		B	VU		
54	カモメ科	コアジサシ	夏鳥	B			B	VU		
55	カモメ科	アジサシ	旅鳥		C		要注目			
56	ウミスズメ科	ウミスズメ	迷鳥			調	調	CR		
57	ミサゴ科	ミサゴ	留鳥			C	A	NT		
58	タカ科	ハチクマ	夏鳥	B			B	NT		
59	タカ科	チュウヒ	冬鳥			A	追加	EN		
60	タカ科	ツミ	留鳥	調		C	B			
61	タカ科	ハイタカ	冬鳥			C	C	NT		
62	タカ科	オオタカ	留鳥	B		C	B	NT		
63	タカ科	サシバ	夏鳥	A			B	VU		
64	タカ科	ノスリ	冬鳥			C	B			
65	フクロウ科	オオコノハズク	冬鳥			C	B			
66	フクロウ科	フクロウ	留鳥	C		C				
67	フクロウ科	アオバズク	夏鳥	B			B			
68	フクロウ科	トラフズク	冬鳥			B	B			
69	フクロウ科	コミミズク	冬鳥			B	B			
70	カワセミ科	アカショウビン	旅鳥		C		B			
71	カワセミ科	ヤマセミ	留鳥	A		A	B			
72	ブッポウソウ科	ブッポウソウ	旅鳥		C		A	EN		
73	キツツキ科	アリスイ	冬鳥			C	B			
74	キツツキ科	アカゲラ	冬鳥			C	C			
75	キツツキ科	アオゲラ	留鳥	C		C	C			
76	ハヤブサ科	チョウゲンボウ	冬鳥	調				△		
77	ハヤブサ科	コチョウゲンボウ	冬鳥			B	C			
78	ハヤブサ科	ハヤブサ	留鳥	A		C	B	VU		
79	ヤイロチョウ科	ヤイロチョウ	旅鳥	調	調		追加	EN		
80	サンショウクイ科	サンショウクイ	夏鳥	B			C	VU		
81	カササギヒタキ科	サンコウチョウ	夏鳥	C						
82	ツリスガラ科	ツリスガラ	冬鳥			C	C			

■ 鳥類(つづき)

No.	科名	種和名	渡り区分	神戸市2015ランク				兵庫県RDB2013	環境省RL2015	主な生息環境
				繁殖	通過	越冬	ランクの変更			
83	ヨシキリ科	オオヨシキリ	夏鳥	B				要注目		
84	ヨシキリ科	コヨシキリ	旅鳥	B				C		
85	ミソサザイ科	ミソサザイ	留鳥	C						
86	カワガラス科	カワガラス	留鳥	B		B		C		
87	ヒタキ科	トラツグミ	留鳥	C						
88	ヒタキ科	コサメビタキ	夏鳥	C				C		
89	イワヒバリ科	カヤクグリ	冬鳥			C		A		
90	イワヒバリ科	オオマシコ	冬鳥			調	追加	調		
91	アトリ科	ホオアカ	冬鳥			C	追加	A		
92	ホオジロ科	ノジコ	旅鳥		C			A	NT	
93	ホオジロ科	クロジ	冬鳥			調	△	B		
94	ホオジロ科	オオジュリン	冬鳥			C				

■ 爬虫類(9種)

No.	科名	種和名	神戸市2015ランク		兵庫県RDB2003	環境省RL2015	主な生息環境
1	ウミガメ科	アカウミガメ	A		A	EN	
2	イシガメ科	ニホンイシガメ	B			NT	
3	スッポン科	ニホンスッポン	C		調*	DD	
4	ヤモリ科	タワヤモリ	調		A	NT	
5	タカチホヘビ科	タカチホヘビ	B		C		
6	ナミヘビ科	ジムグリ	B		要注目		
7	ナミヘビ科	アオダイショウ	調	△			
8	ナミヘビ科	ヒバカリ	B		要注目		
9	ナミヘビ科	シロマダラ	B		C		

※ニホンスッポン(在来個体群)のみ該当

■ 両生類(13種)

No.	科名	種和名	神戸市2015ランク		兵庫県RDB2003	環境省RL2015	主な生息環境
1	サンショウウオ科	カスミサンショウウオ	B		B	VU	
2	サンショウウオ科	ヒダサンショウウオ	A	↑	B	NT	
3	オオサンショウウオ科	オオサンショウウオ	調		B	VU	
4	イモリ科	アカハライモリ	C		要注目	NT	
5	ヒキガエル科	ニホンヒキガエル	C		C		
6	アカガエル科	タゴガエル	C		C		
7	アカガエル科	ニホンアカガエル	C		C		
8	アカガエル科	ヤマアカガエル	調		C		
9	アカガエル科	ツチガエル	B		C		
10	アカガエル科	ナゴヤダルマガエル	A		A	EN	
11	アオガエル科	シュレーゲルアオガエル	C		C		
12	アオガエル科	モリアオガエル	B		B		
13	アオガエル科	カジカガエル	B		C		



ハチクマ(Bランク)



ヒダサンショウウオ(Aランク)



ニホンアカガエル(Cランク)

■ 魚類(30種)

No.	科名	種和名	神戸市2015 ランク		兵庫県 RDB2003	環境省RL 2015	主な生息環境
1	ヤツメウナギ科	スナヤツメ南方種	調		A	VU	
2	ウナギ科	ニホンウナギ	C			EN	
3	コイ科	ギンブナ	C	↑			
4	コイ科	ヤリタナゴ	B		B	NT	
5	コイ科	アブラボテ	調		C	NT	
6	コイ科	カネヒラ	調		B		
7	コイ科	イチモンジタナゴ	A	追加	B	CR	
8	コイ科	シロヒレタビラ	A	追加	A	EN	
9	コイ科	ニッポンバラタナゴ	A	追加	A	CR	
10	コイ科	カワバタモロコ	A		A	EN	
11	コイ科	ヒガイ類	調				
12	コイ科	ムギツク	A				
13	コイ科	イトモロコ	B				
14	コイ科	コウライモロコ	C		C		
15	ドジョウ科	ドジョウ	C		B	DD	
16	ドジョウ科	オオシマドジョウ	B				
17	ドジョウ科	チュウガタスジシマドジョウ	B				
18	ドジョウ科	ナガレホトケドジョウ	B		B	EN	
19	ギギ科	ギギ	B				
20	アカザ科	アカザ	A		B	VU	
21	アユ科	アユ	C				
22	メダカ科	ミナミメダカ	C		要注目	VU	
23	ハゼ科	カワアナゴ	A		A		
24	ハゼ科	ミミズハゼ	C		調		
25	ハゼ科	スミウキゴリ	C				
26	ハゼ科	ウキゴリ	C		調		
27	ハゼ科	ゴクラクハゼ	C				
28	ハゼ科	シマヨシノボリ	調				
29	ハゼ科	オオヨシノボリ	B	追加	B		
30	ハゼ科	クロヨシノボリ	B		B		

■ 昆虫類(192種)

No.	科名	種和名	神戸市2015 ランク		兵庫県 RDB2012	環境省RL 2015	主な生息環境
1	ガガンボカゲロウ科	ガガンボカゲロウ	調				
2	フタオカゲロウ科	オオフタオカゲロウ	C				
3	トビイロカゲロウ科	オトゲエラカゲロウ	B		要注目		
4	アオイトトンボ科	コバネアオイトトンボ	今	↑	A	EN	
5	イトトンボ科	ベニイトトンボ	B	↓	A	NT	
6	イトトンボ科	モートンイトトンボ	B		A	NT	
7	イトトンボ科	ムスジイトトンボ	C	○	要注目		
8	イトトンボ科	オオイトトンボ	C		B		
9	モノサシトンボ科	グンバイトンボ	B		B	NT	
10	カワトンボ科	アオハダトンボ	今		A	NT	
11	ムカシトンボ科	ムカシトンボ	A		要注目		
12	ヤンマ科	ネアカヨシヤンマ	A	↑	B	NT	
13	ヤンマ科	アオヤンマ	A	↑	C	NT	
14	ヤンマ科	ルリボシヤンマ	A		C		
15	ヤンマ科	マルタンヤンマ	C	↑			
16	ヤンマ科	カトリヤンマ	B	↑	C		
17	ヤンマ科	サラサヤンマ	B	↑	B		
18	サナエトンボ科	キイロサナエ	C		B	NT	
19	サナエトンボ科	ヒメクロサナエ	B	↓			
20	サナエトンボ科	オナガサナエ	C	↑			
21	サナエトンボ科	アオサナエ	A	↑	C		
22	サナエトンボ科	ホンサナエ	A	○	A		
23	サナエトンボ科	オジロサナエ	C	↑			
24	サナエトンボ科	タベサナエ	調	追加		NT	
25	サナエトンボ科	オグマサナエ	調	追加		NT	

■ 昆虫類(つづき)

No.	科名	種和名	神戸市2015 ランク		兵庫県 RDB2012	環境省RL 2015	主な生息環境
26	ムカシヤンマ科	ムカシヤンマ	A	↑	B		
27	エゾトンボ科	トラフトンボ	C	○			
28	エゾトンボ科	キイロヤマトンボ	今		A	NT	
29	エゾトンボ科	ハネビロエゾトンボ	B	↑	B	VU	
30	エゾトンボ科	タカネトンボ	調	追加	要注目		
31	エゾトンボ科	エゾトンボ	C		C		
32	トンボ科	ベッコウトンボ	今		A	CR	
33	トンボ科	ヨツボシトンボ	C	○	要注目		
34	トンボ科	ハッチョウトンボ	B	↑	B		
35	トンボ科	キトンボ	C	○			
36	トンボ科	アキアカネ	C	○	要注目		
37	トンボ科	ナニワトンボ	C		C	VU	
38	トンボ科	ノシメトンボ	C	○			
39	トンボ科	マイコアカネ	調	追加			
40	トンボ科	マダラナニワトンボ	今		A	EN	
41	トンボ科	ミヤマアカネ	C		C		
42	トンボ科	オオキトンボ	C	○	B	EN	
43	ヒメカマキリ科	サツマヒメカマキリ	調	追加			
44	クツワムシ科	クツワムシ	調	追加	C		
45	キリギリス科	カヤキリ	調	追加	要注目		
46	マツムシ科	クチキコオロギ	調	△	C		
47	マツムシ科	カヤコオロギ	C	○	B		
48	コオロギ科	ヒメコオロギ	C	↑	要調査		
49	コオロギ科	クロツヤコオロギ	調				
50	コオロギ科	クチナガコオロギ	C				
51	ヒバリモドキ科	キタヤチスズ	C	↑			
52	バッタ科	イナゴモドキ	C	追加			
53	セミ科	エゾゼミ	C	↑			
54	サシガメ科	ハリサシガメ	調	追加		NT	
55	ツチカメムシ科	シロヘリツチカメムシ	調			NT	
56	キンカメムシ科	ニシキキンカメムシ	調		要調査		
57	アメンボ科	エサキアメンボ	C	○	B	NT	
58	イトアメンボ科	イトアメンボ	調	追加	要調査	VU	
59	ミズムシ科	ホッケミズムシ	A		A	NT	
60	ミズムシ科	オオミズムシ	B	↓	C	NT	
61	ミズムシ科	ナガミズムシ	A		A	NT	
62	コオイムシ科	タガメ	今		B	VU	
63	タイコウチ科	ヒメタイコウチ	A		A		
64	ナベバタムシ科	トゲナベバタムシ	A		A	VU	
65	ナベバタムシ科	ナベバタムシ	調				
66	コバンムシ科	コバンムシ	A		A	EN	
67	ヘビトンボ科	タイリククロスジヘビトンボ	調				
68	ヘビトンボ科	ヤマトクロスジヘビトンボ	調				
69	ヒゲナガカワトビケラ科	チャバネヒゲナガカワトビケラ	調				
70	ナガレトビケラ科	クレメンスナガレトビケラ	調				
71	ナガレトビケラ科	レゼイナガレトビケラ	調				
72	カタツムリトビケラ科	カタツムリトビケラ	C		C		
73	ヒゲナガトビケラ科	ミサキツノトビケラ	調				
74	フトヒゲトビケラ科	ヒトスジキソトビケラ	今				
75	ニセマイコガ科	セグロベニトゲアシガ	C	○			
76	セセリチョウ科	アオバセセリ本土亜種	C	↑			
77	セセリチョウ科	ホンバセセリ	C	○			
78	セセリチョウ科	ギンイチモンジセセリ	B		B	NT	
79	セセリチョウ科	ミヤマチャバネセセリ	B	↑	要注目		
80	セセリチョウ科	オオチャバネセセリ	C	○			
81	セセリチョウ科	ヘリグロチャバネセセリ	B		C		
82	シジミチョウ科	ウラゴマダラシジミ	調	追加	要注目		
83	シジミチョウ科	オオミドリシジミ	調	追加			
84	シジミチョウ科	ウラナミアカシジミ	C		C		
85	シジミチョウ科	ミドリシジミ	C		要注目		

■ 昆虫類(つづき)

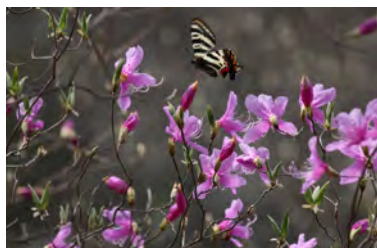
No.	科名	種和名	神戸市2015 ランク		兵庫県 RDB2012	環境省RL 2015	主な生息環境
86	シジミチョウ科	クロシジミ	A		A	EN	
87	シジミチョウ科	ゴイシシジミ	C	○	要注目		
88	シジミチョウ科	クロツバメシジミ中国地方・ 四国・九州内陸亜種	B	↓	B	NT	
89	シジミチョウ科	ウラミスジシジミ	C	↑			
90	シジミチョウ科	シルビアシジミ	A		B	EN	
91	タテハチョウ科	サカハチチョウ	C				
92	タテハチョウ科	ウラギンスジヒョウモン	A		B	VU	
93	タテハチョウ科	オオウラギンスジヒョウモン	C	○			
94	タテハチョウ科	メスグロヒョウモン	調	追加			
95	タテハチョウ科	スミナガシ本土亜種	C	↑			
96	タテハチョウ科	ウラギンヒョウモン	B				
97	タテハチョウ科	オオウラギンヒョウモン	今		絶滅	CR	
98	タテハチョウ科	クモガタヒョウモン	B	○	C		
99	タテハチョウ科	ミスジチョウ	C	↑			
100	タテハチョウ科	オオムラサキ	C		C	NT	
101	アゲハチョウ科	ギフチョウ	A		B	VU	
102	シロチョウ科	ヤマトスジグロシロチョウ 本州以南亜種	調		要注目		
103	ジャノメチョウ科	ヒメヒカゲ本州西部亜種	今	↑		EN	
104	ジャノメチョウ科	ウラナミジャノメ本土亜種	今	A	B	VU	
105	スズメガ科	オオシモフリスズメ	C		C		
106	カノコガ科	キハダカノコ	C	○			
107	ヤガ科	コシロシタバ	C		C	NT	
108	ヤガ科	ナマリキシタバ	B	○	C		
109	ヤガ科	ゴマシオキシタバ	B				
110	コブガ科	サラサリンガ	C	○			
111	クサアブ科	ネグロクサアブ	C		要注目	DD	
112	シギアブ科	キアシキンシギアブ	調	△			
113	ミズアブ科	ミズアブ	調	追加			
114	ムシヒキアブ科	トゲツヤシアブ	調	△			
115	ツリアブ科	トラツリアブ	C	○	要調査		
116	ツリアブ科	シバカワツリアブ	調	追加			
117	ハナアブ科	ケンランアリノスアブ	C	○	要調査	VU	
118	ハナアブ科	ルリハナアブ	調	追加			
119	オサムシ科	セアカオサムシ	調		要調査	NT	
120	オサムシ科	オサムシモドキ	今		要調査		
121	オサムシ科	クロモンヒラナガゴミムシ	調				
122	オサムシ科	キノコゴミムシ	C				
123	オサムシ科	キベリマルクビゴミムシ	A	○	要調査	EN	
124	ハンミョウ科	アイヌハンミョウ	C	↑	C	NT	
125	ゲンゴロウ科	クロゲンゴロウ	C	○		NT	
126	ゲンゴロウ科	ゲンゴロウ	A		A	VU	
127	ゲンゴロウ科	マルコガタノゲンゴロウ	今		A	CR	
128	ゲンゴロウ科	コガタノゲンゴロウ	A	↓	A	VU	
129	ゲンゴロウ科	マルガタゲンゴロウ	今		C	VU	
130	ゲンゴロウ科	シマゲンゴロウ	B	↑		NT	
131	ゲンゴロウ科	マダラシマゲンゴロウ	今		絶滅	CR	
132	ゲンゴロウ科	マルケシゲンゴロウ	C	追加		NT	
133	ゲンゴロウ科	ケシゲンゴロウ	B	追加		NT	
134	ゲンゴロウ科	ヒメケシゲンゴロウ	C	追加		VU	
135	ゲンゴロウ科	キベリクロヒメゲンゴロウ	C	追加		NT	
136	ゲンゴロウ科	コウベツゲンゴロウ	B	↑		NT	
137	ゲンゴロウ科	ルイスツゲンゴロウ	C	追加		VU	
138	ゲンゴロウ科	シャープツゲンゴロウ	C	追加		NT	
139	ゲンゴロウ科	クロマゲンゴロウ	調	追加			
140	ゲンゴロウ科	ヒメゲンゴロウ	C	追加			
141	ミズスマシ科	オオミズスマシ	C	追加		NT	
142	ミズスマシ科	コミズスマシ	調	追加		EN	
143	ミズスマシ科	ヒメミズスマシ	B	追加	C	EN	

■ 昆虫類(つづき)

No.	科名	種和名	神戸市2015 ランク	兵庫県 RDB2012	環境省RL 2015	主な生息環境	
144	ミズスマシ科	ミズスマシ	A		C	VU	
145	コガシラミズムシ科	キイロコガシラミズムシ	C	○	C	VU	
146	コガシラミズムシ科	マダラコガシラミズムシ	C	○	C	VU	
147	コツブゲンゴロウ科	ムツボシツヤコツブゲンゴロウ	A		C	VU	
148	カワラゴミムシ科	カワラゴミムシ	B		C		
149	ガムシ科	ガムシ	C	○		NT	
150	ガムシ科	シジミガムシ	調	追加	要調査	EN	
151	クワガタムシ科	オオクワガタ	今		B	VU	
152	コガネムシ科	アカマダラハナムグリ	B		A		
153	コガネムシ科	オオフトホシマダグソコガネ	C				
154	コガネムシ科	コカブトムシ	調	追加			
155	コガネムシ科	ツヤスジコガネ	C	○			
156	コガネムシ科	シロスジコガネ	今		B		
157	コガネムシ科	ヒゲコガネ	C	○	B		
158	コガネムシ科	クロカナブン	調	追加	C		
159	ホタル科	ヘイケボタル	調	追加	要注目		
160	ホタル科	ヒメボタル	調	△	要注目		
161	テントウムシ科	ジウクホシテントウ	C	○	要注目		
162	テントウムシ科	ジウサンホシテントウ	C		要注目		
163	ゴミムシ科	ヤマトオサムシダマシ	調			NT	
164	カミキリムシ科	センノキカミキリ	調	追加			
165	カミキリムシ科	ヨコヤマヒメカミキリ	C	○			
166	カミキリムシ科	キイロミヤマカミキリ	C	↑			
167	カミキリムシ科	マヤサンコブヤハズカミキリ	調		C		
168	カミキリムシ科	オオシロカミキリ	調	△			
169	カミキリムシ科	ベニバナカミキリ	C	↑			
170	カミキリムシ科	セダカコブヤハズカミキリ	B	↑			
171	カミキリムシ科	カタキハナカミキリ	B	↑			
172	カミキリムシ科	クリストフコトラカミキリ	調	追加			
173	カミキリムシ科	ヨツボシカミキリ	A	○		EN	
174	カミキリムシ科	ヤノトラカミキリ	調				
175	ハムシ科	キンイロネクイハムシ	B	↑	C	NT	
176	ハムシ科	カツラネクイハムシ	A		B		
177	コンボウハバチ科	アカガネコンボウハバチ	C	↑			
178	コンボウハバチ科	ナシアシブトハバチ	C	↑			
179	ハバチ科	ツマグロアカハバチ	C				
180	ハバチ科	スミスシロオビハバチ	C				
181	ヤドリキバチ科	トサヤドリキバチ	調	追加		DD	
182	コマユバチ科	ウモノオバチ	C		C	NT	
183	ヒメバチ科	ミスバチ	調	追加		DD	
184	セナガアナバチ科	サトセナガアナバチ	C	↑			
185	ドロバチモドキ科	キアシハナダカバチモドキ	C			VU	
186	アリマキバチ科	カラトイスカバチ	調	追加		DD	
187	アナバチ科	キゴシジガバチ	C	○	要調査		
188	アナバチ科	フクイアナバチ	C	○	C	NT	
189	ミツバチ科	ナミルリモンハナバチ	調	△		DD	
190	ハキリバチ科	トモンハナバチ	調				
191	ハキリバチ科	コウベキヌゲハキリバチ	調				
192	ハキリバチ科	マイマイツツハナバチ	調	追加		DD	



イナゴモドキ(Cランク)



ギフチョウ(Aランク)



シマゲンゴロウ(Bランク)

■ 甲殻類(10種)

No.	科名	種和名	神戸市2015 ランク	兵庫県 RDB2014	環境省RL 2015	主な生息環境
1	テナガエビ科	ミナミテナガエビ	C	C		
2	テナガエビ科	ヒラテナガエビ	A	A		
3	ホンヤドカリ科	ヨモギホンヤドカリ	C			
4	スナガニ科	スナガニ	A	B		
5	ベンケイガニ科	クロベンケイガニ	C	C		
6	ベンケイガニ科	アカテガニ	A	B		
7	ベンケイガニ科	フタバカクガニ	B	B		
8	ベンケイガニ科	ベンケイガニ	A	B		
9	モクスガニ科	ハマガニ	A	B		
10	モクスガニ科	アシハラガニ	B	C		

■ 貝類(陸産)(14種)

No.	科名	種和名	神戸市2015 ランク	兵庫県 RDB2014	環境省RL 2015	主な生息環境
1	ゴマオカタニシ科	ゴマオカタニシ	C		NT	
2	ヤマタニシ科	ハリマムシオイ	A	A		
3	キセルガイモドキ科	キセルガイモドキ	C	C		
4	キセルガイ科	ハゲキセル	C			
5	ホソアシヒダナメクジ科	イボイボナメクジ	A	A	NT	
6	キセルガイ科	ヒメコギセル	B			
7	シタラ科	ウメムラシタラガイ	B		NT	
8	ナンバンマイマイ科	ケハダヒロウドマイマイ	B	B	NT	
9	ナンバンマイマイ科	ヒロウドマイマイ	B	B	DD	
10	オナジマイマイ科	マヤサンマイマイ	A	A	VU	
11	オナジマイマイ科	ヌノビキケマイマイ	A	A	VU	
12	オナジマイマイ科	クチマガリマイマイ	C	B	NT	
13	オナジマイマイ科	イセノナミマイマイ	B	要注目		
14	オナジマイマイ科	ギューリキマイマイ	B	要注目		

■ 貝類(淡水・汽水産)(20種)

No.	科名	種和名	神戸市2015 ランク	兵庫県 RDB2014	環境省RL 2015	主な生息環境
1	ユキノカサガイ科	ツボミ	A			
2	タニシ科	マルタニシ	C	C	VU	
3	カワニナ科	クロダカワニナ	C	C	NT	
4	ウミニナ科	ホソウミニナ	A			
5	ウミニナ科	ウミニナ	A		NT	
6	タマキビ科	マルウスラタマキビガイ	C			
7	カワザンショウガイ科	クリイロカワザンショウガイ	A	C	NT	
8	カワザンショウガイ科	ツブカワザンショウガイ	A	B	NT	
9	エゾマメタニシ科	イナバマメタニシ	B	B	VU	
10	エゾマメタニシ科	ヒメマルマメタニシ	C	C	VU	
11	ムシロガイ科	アラムシロガイ	B			
12	ヒラマキガイ科	クルマヒラマキガイ	B	B	VU	
13	フネガイ科	サルボウガイ	B			
14	バカガイ科	ミルクイガイ	A	A	VU	
15	ニッコウガイ科	ヒメシラトリガイ	A			
16	フナガタガイ科	ウネナシトマヤガイ	C		NT	
17	シジミ科	マシジミ	C	要注目	VU	
18	ドブシジミ科	ドブシジミ	C	C		
19	マルスタレガイ科	カガミガイ	A			
20	オキナガイ科	オキナガイ	A	B		



ヒラテナガエビ(Aランク)



アカテガニ(Aランク)



フタバカクガニ(Bランク)

■ 植物(470種)

No.	科名	種和名	神戸市2015 ランク		兵庫県 RDB2010	環境省RL 2015	主な生育環境
1	マツバラ科	マツバラ	A		B	NT	
2	ヒカゲノカズラ科	ミズスギ	B	↑	C		
3	ヒカゲノカズラ科	ヤチスギラン	今		Ex		
4	ヒカゲノカズラ科	マンネンスギ	A		B		
5	ミズニラ科	ミズニラ	A	↑	C	NT	
6	ハナヤスリ科	アカハナワラビ	B	○	A		
7	ハナヤスリ科	ナツノハナワラビ	B				
8	ハナヤスリ科	コヒロハハナヤスリ	C	↓			
9	ハナヤスリ科	ハマハナヤスリ	B	↑	B		
10	ハナヤスリ科	ヒロハハナヤスリ	A	○	B		
11	ゼンマイ科	ヤマドリゼンマイ	B		C		
12	ゼンマイ科	ヤシャゼンマイ	A		B		
13	コケシノブ科	アオホラゴケ	B				
14	コケシノブ科	ハイホラゴケ	B				
15	コバノイシカグマ科	オウレンシダ	C	↓	B		
16	コバノイシカグマ科	イシカグマ	B		C		
17	シノブ科	シノブ	C				
18	ホウライシダ科	ハコネシダ	C				
19	ホウライシダ科	ミズワラビ	調		C		
20	ホウライシダ科	カラクサシダ	B				
21	シシラン科	シシラン	A				
22	イノモトソウ科	アマクサシダ	B				
23	チャセンシダ科	カミガモシダ	A				
24	チャセンシダ科	オクタマシダ	A		A	VU	
25	チャセンシダ科	コウザキシダ	A	↓	C		
26	チャセンシダ科	コタニワタリ	B				
27	チャセンシダ科	イヌチャセンシダ	B		C		
28	チャセンシダ科	イワトラノオ	C				
29	チャセンシダ科	クルマシダ	A	追加	A		
30	シシガシラ科	オサシダ	C	↓			
31	オシダ科	オオカナワラビ	A				
32	オシダ科	ミヤコヤブソテツ	C	○	C		
33	オシダ科	イワヘゴ	B				
34	オシダ科	ツクシイワヘゴ	調	追加			
35	オシダ科	オシダ	B				
36	オシダ科	ギフベニシダ	B				
37	オシダ科	ミヤマクマワラビ	B		C		
38	オシダ科	アツキノヌカイトチシダマガイ	A		A		
39	オシダ科	ナガバノイタチシダ	B	追加	B		
40	オシダ科	タニヘゴ	今				
41	オシダ科	イワイタチシダ	B				
42	オシダ科	チャボイノデ	A		A		
43	オシダ科	カタイノデ	B				
44	オシダ科	ネッコイノデ	今		調		
45	ヒメシダ科	イワハリガネワラビ	C				
46	メシダ科	ミヤマノコギリシダ	A	追加			
47	イワデンダ科	ウラボシノコギリシダ	A	○			
48	イワデンダ科	ハコネシケチシダ	C		C		
49	イワデンダ科	ムクゲシケシダ	B				
50	イワデンダ科	ナチシケシダ	C				
51	イワデンダ科	ミヤマシケシダ	B		B		
52	イワデンダ科	ヒカゲワラビ	A	○	B		
53	イワデンダ科	ノコギリシダ	C				
54	イワデンダ科	エビラシダ	A		A		
55	イワデンダ科	フクロシダ	A		C		
56	ウラボシ科	タカノハウラボシ	A	追加	A		
57	ウラボシ科	ミヤマノキシノブ	今		C		
58	ウラボシ科	クリハラ	B		C		
59	ウラボシ科	アオネカズラ	今		C		
60	ウラボシ科	ビロードシダ	B				
61	ヒメウラボシ科	オオクボシダ	A		A		
62	デンジソウ科	デンジソウ	A		A	VU	

■ 植物(つづき)

No.	科名	種和名	神戸市2015 ランク		兵庫県 RDB2010	環境省RL 2015	主な生育環境
63	サンショウモ科	サンショウモ	A		A	VU	
64	クルミ科	サワグルミ	A	○			
65	カバノキ科	サクラバハノキ	B			NT	
66	カバノキ科	ミズメ	C				
67	ブナ科	ブナ	A	↑			
68	ブナ科	ナラガシワ	C				
69	ブナ科	カシワ	調				
70	ニレ科	コバノチョウセンエノキ	C				
71	ニレ科	エゾエノキ	A	追加			
72	クワ科	ヒメイタビ	C				
73	ヤドリギ科	ヤドリギ	C				
74	タデ科	サイコクヌカボ	A			VU	
75	タデ科	ナガバノウナギツカミ	今		B	NT	
76	タデ科	サデクサ	B	追加	C		
77	ヤマゴボウ科	マルミノヤマゴボウ	B				
78	ツルナ科	ツルナ	C				
79	ナデシコ科	カワラナデシコ	C				
80	ナデシコ科	オオヤマハコベ	C				
81	アカザ科	オカヒジキ	C				
82	モクレン科	オガタマノキ	A		B		
83	マツバサ科	マツバサ	C				
84	ヤマグルマ科	ヤマグルマ	C				
85	キンボウゲ科	イブキトリカブト	今				
86	キンボウゲ科	タンナトリカブト	調				
87	キンボウゲ科	ケスハマソウ	A		B		
88	キンボウゲ科	ユキワリイチゲ	A	↑			
89	キンボウゲ科	イチリンソウ	B				
90	キンボウゲ科	イヌショウマ	A	↑			
91	キンボウゲ科	カザグルマ	A	追加	B	NT	
92	キンボウゲ科	オウレン	C	追加			
93	キンボウゲ科	オキナグサ	A		A	VU	
94	キンボウゲ科	ヒキノカサ	今	○	A	VU	
95	キンボウゲ科	オトコゼリ	A		B		
96	キンボウゲ科	シギンカラマツ	A		B		
97	メギ科	トキワイカリソウ	C				
98	ツツラフジ科	ツツラフジ	C	↓			
99	スイレン科	オニバス	A		B	VU	
100	スイレン科	サイコクヒメコウホネ	B		C		
101	スイレン科	ヒツジグサ	C	追加			
102	ドクダミ科	ハンゲショウ	B		C		
103	コショウ科	フウトウカズラ	今	○			
104	センリョウ科	ヒトリシズカ	C	追加			
105	ウマノスズクサ科	ウスバサイシン	調	追加			
106	ウマノスズクサ科	フタバアオイ	A				
107	ウマノスズクサ科	ヒメカンアオイ	C				
108	ポタン科	ケナシベニバナヤマシャクヤク	A				
109	マタタビ科	サルナシ	調				
110	ツバキ科	ナツツバキ	C				
111	オトギリソウ科	トモエソウ	B	追加			
112	オトギリソウ科	アゼオトギリ	A	↓	B	EN	
113	オトギリソウ科	ミズオトギリ	B				
114	モウセンゴケ科	イシモチソウ	B		C	NT	
115	モウセンゴケ科	コモウセンゴケ	A	↑	C		
116	ケシ科	ジロボウエンゴサク	B				
117	ケシ科	キケマン	B	↑			
118	アブラナ科	ハタザオ	C	追加			
119	アブラナ科	タチスズシロソウ	今		調	EN	
120	アブラナ科	ミズタガラシ	B				
121	アブラナ科	イヌナスナ	C	追加			
122	アブラナ科	コイヌガラシ	C	追加		NT	
123	アブラナ科	ミチバタガラシ	B		C		
124	マンサク科	コウヤミズキ	A		B		

■ 植物(つづき)

No.	科名	種和名	神戸市2015 ランク	兵庫県 RDB2010	環境省RL 2015	主な生育環境	
125	ベンケイソウ科	アオベンケイ	調		A		
126	ベンケイソウ科	ツメレンゲ	C		C	NT	
127	ベンケイソウ科	マルバマンネングサ	C				
128	ベンケイソウ科	ウンゼンマンネングサ	A		A	VU	
129	ベンケイソウ科	ヒメレンゲ	C	追加			
130	ユキノシタ科	タチネコノメソウ	B				
131	ユキノシタ科	マルバウツギ	C				
132	ユキノシタ科	チャルメルソウ	C	追加			
133	ユキノシタ科	ウメバチソウ	B				
134	ユキノシタ科	タコノアシ	C		C	NT	
135	バラ科	クサボケ	調	追加	C		
136	バラ科	カワラサイコ	調		C		
137	バラ科	イワキンバイ	A		B		
138	バラ科	ツチグリ	B		B	VU	
139	バラ科	テリハキンバイ	B		B		
140	バラ科	ツルキンバイ	A		A		
141	バラ科	モリイバラ	B	↑	C		
142	バラ科	マヤクサイチゴ	B				
143	バラ科	バライチゴ	B				
144	バラ科	オオフユイチゴ	調				
145	バラ科	ナガボノワレモコウ	A	追加	A		
146	マメ科	フジキ	C				
147	マメ科	タヌキマメ	B				
148	マメ科	ミソナオシ	今	○	B		
149	マメ科	ミヤマトベラ	A		A		
150	マメ科	ニワフジ	調				
151	マメ科	ハマエンドウ	C	追加			
152	マメ科	イヌハギ	A	↑	C	VU	
153	マメ科	マキエハギ	A	↑	C		
154	マメ科	ツルフジバカマ	A		A		
155	マメ科	ヨツバハギ	A	追加	A		
156	マメ科	オオバクサフジ	B		B		
157	カタバミ科	エゾタチカタバミ	C	○			
158	ハマビシ科	ハマビシ	今		A	EN	
159	トウダイグサ科	ノウルシ	今	○	B	NT	
160	トウダイグサ科	タカトウダイ	A	↑	C		
161	ヒメハギ科	カキノハグサ	B		B		
162	ヒメハギ科	ヒナノカンザシ	B		C		
163	カエデ科	カジカエデ	A		C		
164	カエデ科	ヒナウチワカエデ	C		C		
165	ムクロジ科	ムクロジ	B		C		
166	ツリフネソウ科	ツリフネソウ	調	追加			
167	モチノキ科	フウリンウメモドキ	B				
168	モチノキ科	タマミズキ	C		C		
169	モチノキ科	ウシカバ	C				
170	ミツバウツギ科	ミツバウツギ	C				
171	ツゲ科	ツゲ	調	追加			
172	ツゲ科	フッキソウ	B		B		
173	クロウメモドキ科	クロウメモドキ	C	追加			
174	シナノキ科	ヘラノキ	A		A		
175	グミ科	アリマグミ	C		C		
176	スミレ科	エイザンスミレ	C	追加			
177	スミレ科	アカネスミレ	B	追加			
178	スミレ科	ヒゴスミレ	C	追加			
179	ウリ科	ゴキツル	C		C		
180	ミソハギ科	ヒメミソハギ	B				
181	ミソハギ科	ミズマツバ	B		C	VU	
182	アリノトウグサ科	ハリマノフサモ	A	追加			
183	アリノトウグサ科	タチモ	C			NT	
184	アリノトウグサ科	フサモ	A	↑	B		
185	ウリノキ科	ウリノキ	C	追加			
186	ウコギ科	ウラゲウコギ	C	追加			

■ 植物(つづき)

No.	科名	種和名	神戸市2015 ランク		兵庫県 RDB2010	環境省RL 2015	主な生育環境
187	セリ科	ノダケ	B				
188	セリ科	ハマウド	調	追加			
189	セリ科	ミシマサイコ	A		C	VU	
190	セリ科	ドクセリ	今		A		
191	セリ科	ハマボウフウ	B	○			
192	セリ科	カワラボウフウ	C				
193	セリ科	イブキボウフウ	C				
194	セリ科	ムカゴニンジン	C				
195	セリ科	カノツメソウ	A		A		
196	イチヤクソウ科	ウメガサソウ	B	↑			
197	イチヤクソウ科	シャクジョウソウ	B		C		
198	イチヤクソウ科	マルバノイチヤクソウ	A		B		
199	ツツジ科	サラサドウダン	調	追加	B		
200	ツツジ科	イワナシ	今				
201	ツツジ科	ホンシャクナゲ	A		C		
202	ツツジ科	サツキ	A		A		
203	ツツジ科	ヒカゲツツジ	B		C		
204	ツツジ科	ユキグニミツバツツジ	C		C		
205	ツツジ科	ダイセンミツバツツジ	調		C		
206	ツツジ科	シロヤシオ	B		B		
207	ヤブコウジ科	イズセンリョウ	B	↑			
208	ヤブコウジ科	タイミンタチバナ	B		C		
209	カキノキ科	トキワガキ	A		B		
210	エゴノキ科	ハクウンボク	B	追加			
211	マチン科	ホウライカズラ	B		C		
212	マチン科	アイナエ	A	↓	B		
213	リンドウ科	イヌセンブリ	B		C	VU	
214	リンドウ科	ムラサキセンブリ	A		B	NT	
215	ミツガシワ科	ヒメシロアサザ	今		A	VU	
216	ミツガシワ科	ガガブタ	B	↑		NT	
217	ミツガシワ科	アサザ	今		B	NT	
218	ガガイモ科	フナバラソウ	A		B	VU	
219	ガガイモ科	クサナギオゴケ	A		A	VU	
220	ガガイモ科	タチカモメヅル	B	↑			
221	ガガイモ科	スズサイコ	C			NT	
222	ガガイモ科	キジョラン	A				
223	ガガイモ科	コカモメヅル	C		C		
224	アカネ科	オオアリドオシ	A				
225	アカネ科	ホンバオオアリドオシ	A				
226	アカネ科	キヌタンソウ	A	追加			
227	アカネ科	オヤマムグラ	C				
228	アカネ科	サツマイナモリ	調		B		
229	アカネ科	イナモリソウ	C				
230	アカネ科	シロバナイナモリソウ	今		Ex		
231	アカネ科	カギカズラ	A		B		
232	ヒルガオ科	アオイゴケ	調				
233	ムラサキ科	オニルリソウ	B				
234	ムラサキ科	ムラサキ	今	○	Ex	EN	
235	クマツツラ科	カリガネソウ	B	追加			
236	クマツツラ科	ハマゴウ	C	追加			
237	シソ科	カワミドリ	C	追加			
238	シソ科	ジュウニヒトエ	C	追加			
239	シソ科	タニジャコウソウ	今		A	NT	
240	シソ科	ジャコウソウ	C	追加			
241	シソ科	キセワタ	今		B	VU	
242	シソ科	ヒカゲヒメジソ	調	追加			
243	シソ科	ヤマジソ	調			NT	
244	シソ科	レモンエゴマ	B	追加			
245	シソ科	トラノオジソ	B	○			
246	シソ科	セトエゴマ	B	追加			
247	シソ科	キバナアキギリ	B				
248	シソ科	イガタツナミソウ	C		C		

■ 植物(つづき)

No.	科名	種和名	神戸市2015 ランク		兵庫県 ROB2010	環境省RL 2015	主な生育環境
249	シソ科	ヤマタツナミソウ	B	↑			
250	シソ科	ミヤマナミキ	B		C		
251	ナス科	イガホオズキ	C	追加			
252	ナス科	ヤマホオズキ	A		A	EN	
253	ナス科	ヤマホロシ	C		C		
254	フジウツギ科	フジウツギ	C		C		
255	ゴマノハグサ科	ゴマクサ	A		B	VU	
256	ゴマノハグサ科	アブノメ	B		C		
257	ゴマノハグサ科	シソクサ	B		B		
258	ゴマノハグサ科	キクモ	C	追加			
259	ゴマノハグサ科	ウンラン	今		A		
260	ゴマノハグサ科	シオガマギク	今				
261	ゴマノハグサ科	ゴマノハグサ	A		A	VU	
262	ゴマノハグサ科	ヒキヨモギ	C				
263	ゴマノハグサ科	イヌノフグリ	C		C	VU	
264	ゴマノハグサ科	カワチシャ	B		C	NT	
265	キツネノマゴ科	オギノツメ	B	↑	C		
266	キツネノマゴ科	ハグロソウ	C	追加			
267	ハマウツボ科	オオナンパンギセル	B		B		
268	ハマウツボ科	ハマウツボ	今	追加	A	VU	
269	ハマウツボ科	キヨスミウツボ	B		B		
270	タヌキモ科	ノタヌキモ	A	↑		VU	
271	タヌキモ科	ミカワタヌキモ	A		A	VU	
272	タヌキモ科	ヒメタヌキモ	A	↑	B	NT	
273	タヌキモ科	ムラサキミミカキグサ	B		C	NT	
274	スイカズラ科	オオツクバネウツギ	B	↑	C		
275	スイカズラ科	ヤマヒョウタンボク	A	追加	A		
276	スイカズラ科	キンキヒョウタンボク	A	○	A	EN	
277	スイカズラ科	ゴマギ	C	○			
278	スイカズラ科	ヤマシグレ	C				
279	マツムシソウ科	マツムシソウ	A		A		
280	キキョウ科	サワギキョウ	C				
281	キキョウ科	キキョウ	B			VU	
282	キク科	ヌマダイコン	B	追加			
283	キク科	テイショウソウ	C		C		
284	キク科	ホンバノヤマハハコ	今		C		
285	キク科	ヒメヨモギ	B		B		
286	キク科	ヒメシオン	A		A		
287	キク科	オケラ	C		C		
288	キク科	タウコギ	今		C		
289	キク科	モミジガサ	B	↑			
290	キク科	ウスゲタマブキ	C				
291	キク科	ミヤマコウモリソウ	A		A	EN	
292	キク科	コバナガンクビソウ	調		C	VU	
293	キク科	ヒメガンクビソウ	C	追加			
294	キク科	モリアザミ	A				
295	キク科	シマカンギク	C	↓			
296	キク科	ノジギク	A		C		
297	キク科	ヒヨドリバナニバイタイ	C				
298	キク科	アキノハハコグサ	今	○		EN	
299	キク科	ヤマジノギク	B				
300	キク科	オグルマ	B		C		
301	キク科	カセンソウ	B		C		
302	キク科	タカサゴソウ	今	↑	A	VU	
303	キク科	ノニガナ	C	追加			
304	キク科	オタカラコウ	C				
305	キク科	ハンカイソウ	B				
306	キク科	ナガバノコウヤボウキ	C				
307	キク科	カシワバハグマ	C	↓	C		
308	キク科	フクオウソウ	B		B		
309	キク科	ホクチアザミ	今	↑			
310	キク科	ミヤコアザミ	今	○	C		

■ 植物(つづき)

No.	科名	種和名	神戸市2015 ランク		兵庫県 ROB2010	環境省RL 2015	主な生育環境
311	キク科	キクアザミ	A	↑	B		
312	キク科	コウリンカ	今		A	VU	
313	キク科	オカオグルマ	B				
314	キク科	サワオグルマ	B				
315	キク科	タムラソウ	C	追加			
316	キク科	ツクシメナモミ	調	追加			
317	キク科	アオヤギバナ	A		A		
318	キク科	ヤブレガサモドキ	A		A	EN	
319	キク科	ハバヤマボクチ	A		A		
320	キク科	オナモミ	今		Ex	VU	
321	オモダカ科	ホンバヘラオモダカ	A	追加	A	CR	
322	オモダカ科	マルバオモダカ	A		B	VU	
323	オモダカ科	アギナシ	B		C	NT	
324	トチカガミ科	マルミスブタ	A		B	VU	
325	トチカガミ科	スブタ	B		C	VU	
326	トチカガミ科	ヤナギスブタ	C		C		
327	トチカガミ科	トチカガミ	今		A	NT	
328	トチカガミ科	ミズオオバコ	C		C	VU	
329	ヒルムシロ科	コバノヒルムシロ	B		B	VU	
330	ヒルムシロ科	イトモ	B		B	NT	
331	イバラモ科	ムサシモ	今		Ex	EN	
332	イバラモ科	サガミトリゲモ	B		B	VU	
333	イバラモ科	イトトリゲモ	C		C	NT	
334	イバラモ科	オオトリゲモ	C				
335	ホンゴウソウ科	ホンゴウソウ	A		B	VU	
336	ホンゴウソウ科	ウエマツソウ	A		A	VU	
337	ユリ科	キジカクシ	B				
338	ユリ科	カタクリ	今		C		
339	ユリ科	ミノコバイモ	今		A	VU	
340	ユリ科	ノカンゾウ	C	追加			
341	ユリ科	ユウスゲ	B		C		
342	ユリ科	カンザシギボウシ	C		C		
343	ユリ科	キヨスミギボウシ	B		C		
344	ユリ科	コバギボウシ	C	追加			
345	ユリ科	ヒメユリ	今	○	調	EN	
346	ユリ科	コオニユリ	B				
347	ユリ科	コヤブラン	B		C		
348	ユリ科	ノシラン	B		B		
349	ユリ科	ユキザサ	B				
350	ユリ科	ヤマカシュウ	C				
351	ユリ科	アマナ	B	↑			
352	ユリ科	ホンバシュロソウ	今	↑			
353	アヤメ科	ノハナショウブ	B		C		
354	アヤメ科	カキツバタ	調		B	NT	
355	アヤメ科	アヤメ	調		調		
356	ヒナノシャクジョウ科	ヒナノシャクジョウ	A		B		
357	ヒナノシャクジョウ科	ヒナノボンボリ	今		Ex	CR	
358	イグサ科	タチコウガイゼキショウ	C	追加			
359	イグサ科	イヌイ	調				
360	ホシクサ科	オオホシクサ	B				
361	ホシクサ科	ホシクサ	B		C		
362	ホシクサ科	ツクシクロイヌノヒゲ	C			VU	
363	ホシクサ科	ヒロハイヌノヒゲ	B	↑			
364	イネ科	ダンチク	C				
365	イネ科	アズマガヤ	C				
366	イネ科	ヒロハノコヌカグサ	調		C		
367	イネ科	コウヤザサ	C				
368	イネ科	ホガエリガヤ	C	追加			
369	イネ科	ホッサガヤ	B	↑	C		
370	イネ科	ヒメアブラススキ	B	追加			
371	イネ科	ヒナザサ	C			NT	
372	イネ科	ヌマカゼクサ	C				

■ 植物(つづき)

No.	科名	種和名	神戸市2015 ランク		兵庫県 ROB2010	環境省RL 2015	主な生育環境
373	イネ科	ウンヌケモドキ	A	↑	C	NT	
374	イネ科	ヒロハノドジョウツナギ	A		A		
375	イネ科	コウボウ	B	↑	C		
376	イネ科	カモノハシ	C	追加			
377	イネ科	ミチシバ	調		調		
378	イネ科	ヌマガヤ	C	追加			
379	イネ科	ミヤマネズミガヤ	調				
380	イネ科	タチネズミガヤ	C		C		
381	イネ科	スズメノコビエ	B	追加	B		
382	イネ科	タキキビ	今		C		
383	イネ科	アリマコスズ	調				
384	イネ科	モロコシガヤ	B		C		
385	イネ科	ヒゲシバ	B	↑			
386	サトイモ科	アオオニテンナンショウ	調				
387	サトイモ科	ホソバテンナンショウ	C		C		
388	サトイモ科	キシダマムシグサ	C		C		
389	サトイモ科	ハリマムシグサ	B		B	VU	
390	サトイモ科	ムサシアブミ	B		B		
391	サトイモ科	ユキモチソウ	A		A	VU	
392	ミクリ科	ミクリ	A	追加	C	NT	
393	ミクリ科	ヤマトミクリ	A		B	NT	
394	ミクリ科	ナガエミクリ	B		C	NT	
395	ミクリ科	ヒメミクリ	A	↑	B	VU	
396	ガマ科	コガマ	B		B		
397	カヤツリグサ科	オオナキリスゲ	C		C		
398	カヤツリグサ科	ヤマジスゲ	B	↑	C		
399	カヤツリグサ科	アワボスゲ	B				
400	カヤツリグサ科	コゴメスゲ	B	↑			
401	カヤツリグサ科	オニスゲ	C	追加			
402	カヤツリグサ科	オオタマツリスゲ	B	↑	C		
403	カヤツリグサ科	ウマスゲ	A	追加	A		
404	カヤツリグサ科	コウボウムギ	B				
405	カヤツリグサ科	ヒメミコシガヤ	A		A	CR	
406	カヤツリグサ科	イソアオスゲ	B				
407	カヤツリグサ科	フサスゲ	B		B		
408	カヤツリグサ科	ツルミヤマカンスゲ	B				
409	カヤツリグサ科	キンキカサスゲ	C	追加			
410	カヤツリグサ科	タカネマスクサ	C	追加			
411	カヤツリグサ科	マメスゲ	B		C		
412	カヤツリグサ科	ベニイトスゲ	C		C		
413	カヤツリグサ科	サトヤマハリスゲ	B		調		
414	カヤツリグサ科	フサナキリスゲ	B	↑			
415	カヤツリグサ科	ヒトモトススキ	B				
416	カヤツリグサ科	ヌマガヤツリ	A	追加	調		
417	カヤツリグサ科	オオシロガヤツリ	C	追加			
418	カヤツリグサ科	シロガヤツリ	B				
419	カヤツリグサ科	セイタカハリイ	C				
420	カヤツリグサ科	ヤリハリイ	C		C		
421	カヤツリグサ科	イソヤマテンツキ	B	○	C		
422	カヤツリグサ科	アンペライ	今		B		
423	カヤツリグサ科	ミカツキグサ	C		C		
424	カヤツリグサ科	トラノハナヒゲ	A		B		
425	カヤツリグサ科	オオイヌノハナヒゲ	C				
426	カヤツリグサ科	ノグサ	C	追加	C		
427	カヤツリグサ科	オオフトイ	A	追加			
428	カヤツリグサ科	マツカサススキ	B		B		
429	カヤツリグサ科	シズイ	A		B		
430	カヤツリグサ科	フトイ	B	↑	調		
431	カヤツリグサ科	ヒゲアブラガヤ	C	↓			
432	カヤツリグサ科	カガシラ	今	↑	B	VU	
433	カヤツリグサ科	ミカワシンジュガヤ	B		B	VU	
434	カヤツリグサ科	ケシンジュガヤ	C		C		

■ 植物(つづき)

No.	科名	種和名	神戸市2015 ランク	兵庫県 ROB2010	環境省RL 2015	主な生育環境
435	カヤツリグサ科	マネキシシユガヤ	C		C	
436	ラン科	ヒナラン	A ↑	B	EN	
437	ラン科	マメツタラン	A ↑	B	NT	
438	ラン科	ムギラン	C		NT	
439	ラン科	エビネ	C	C	NT	
440	ラン科	ギンラン	C	C		
441	ラン科	キンラン	B ↑	C	VU	
442	ラン科	ササバギンラン	A	B		
443	ラン科	クゲヌマラン	調 追加		VU	
444	ラン科	サイハイラン	C			
445	ラン科	トケンラン	A 追加	A	VU	
446	ラン科	マヤラン	A	A	VU	
447	ラン科	セッコク	A	A		
448	ラン科	カキラン	C	C		
449	ラン科	タシロラン	調 追加		NT	
450	ラン科	オキノヤガラ	C	C		
451	ラン科	シロテンマ	調 追加		CR	
452	ラン科	アケボノシュスラン	B			
453	ラン科	サギソウ	B	B	NT	
454	ラン科	ミストンボ	C	C	VU	
455	ラン科	ムカゴソウ	今	B	EN	
456	ラン科	ムヨウラン	C	C		
457	ラン科	ジガバチソウ	B ↑			
458	ラン科	フタバラン	調 追加	A		
459	ラン科	アオフタバラン	A	B		
460	ラン科	フウラン	A	A	VU	
461	ラン科	ヨウラクラン	A	A		
462	ラン科	ウチョウラン	A	A	VU	
463	ラン科	ジンバイソウ	調	B		
464	ラン科	ヤマサギソウ	B ↑	C		
465	ラン科	コバノトンボソウ	C	C		
466	ラン科	トキソウ	B ↑	C	NT	
467	ラン科	ヤマトキソウ	B ↑	C		
468	ラン科	カヤラン	A ↓	C		
469	ラン科	クモラン	A ↑	B		
470	ラン科	ヒトツボクロ	B	B		



ハマボウフウ(Bランク)



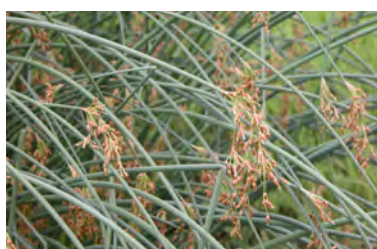
ハナショウブ(Bランク)



ハリマムシグサ(Bランク)



アカネスミレ(Bランク)



フトイ(Bランク)



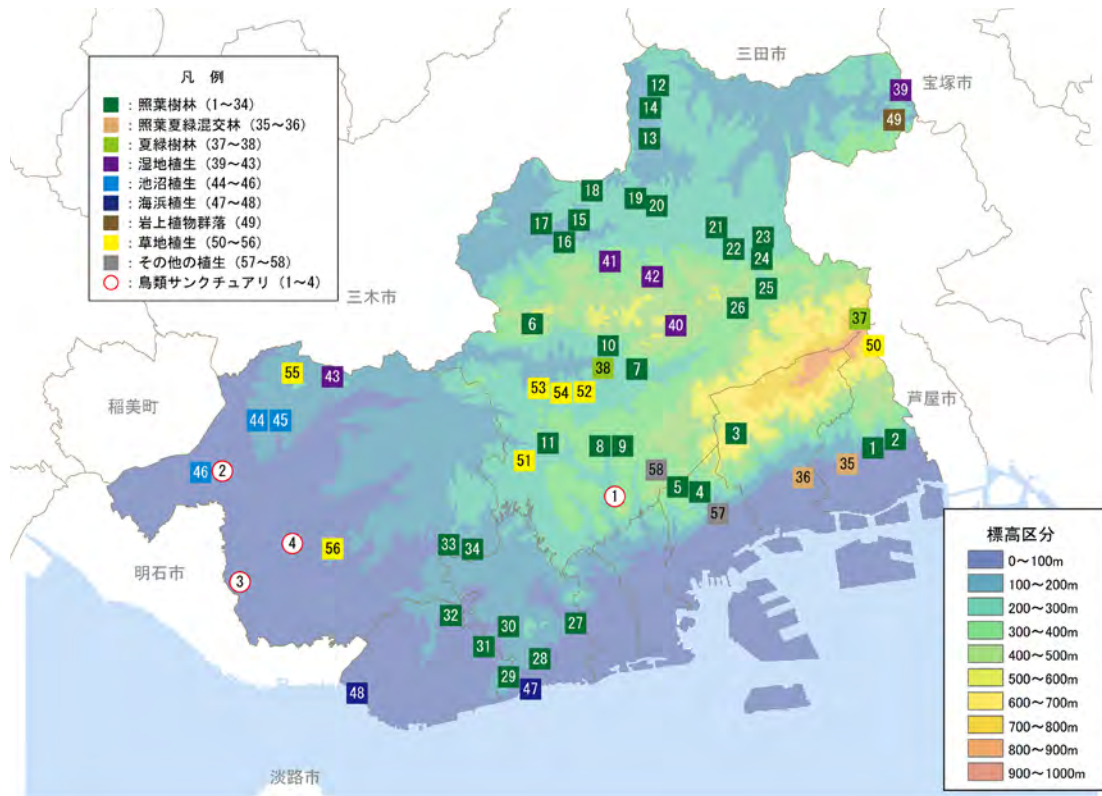
フウリンウメモドキ(Bランク)

■ 植物群落(58群落)

No.	群落分類	群落名	確認場所	神戸市 2015ランク	兵庫県 RDB2010		
1	照葉樹林	アラカシーヒメユズリハ群落	東灘区本山町岡本	素戔鳴尊神社	C	C	
2	照葉樹林	ヤマモモ群落	東灘区本山町北畑	保久良神社	C	C	
3	照葉樹林	スダジイ群落	灘区摩耶山町 摩耶山	摩耶山天上寺	B	C	
4	照葉樹林	アラカシーカゴノキ群落	中央区葺合町	布引滝	C	—	
5	照葉樹林	スダジイ群落	中央区神戸港地方 再度山	大龍寺	A	B	
6	照葉樹林	モミ-アカガシ群落	北区山田町坂本 丹生山	丹生神社	C	—	
7	照葉樹林	ウラジロガシ群落	北区山田町下谷上	天彦根神社	C	↑	—
8	照葉樹林	スダジイ群落	北区山田町小部北ノ谷 (神戸宝塚線沿い)	杉尾神社	C	↑	—
9	照葉樹林	スダジイ群落	北区山田町小部松宮山	大歳神社	C	↑	—
10	照葉樹林	コジイ群落	北区山田町原野火打石	八坂神社	C	↑	—
11	照葉樹林	スダジイ群落	北区山田町藍那北ノ町	藍那八王子宮	C	↑	—
12	照葉樹林	ウラジロガシ-シラカシ群落	北区大沢町市原	豊歳神社	C	↑	—
13	照葉樹林	コジイ群落	北区大沢町中大沢	素戔鳴尊神社	A		B
14	照葉樹林	シラカシーウラジロガシ群落	北区大沢町日西原	天満神社	C		—
15	照葉樹林	コジイ群落	北区淡河町行原	大歳神社	C	↑	—
16	照葉樹林	コジイ群落	北区淡河町勝雄	中山神社	B	追加	—
17	照葉樹林	シラカシーアラカシ群落	北区淡河町行原	山平(やまひら)神社	C	↑	—
18	照葉樹林	スダジイ群落	北区淡河町神影	石峰寺	A		C
19	照葉樹林	アカガシ-シイ群落	北区淡河町神田	素戔鳴(天王)神社	C		—
20	照葉樹林	コジイ群落	北区淡河町神田	八雲神社	C		—
21	照葉樹林	コジイ群落	北区八多町附物	八王子神社	C	↑	—
22	照葉樹林	アカガシ群落	北区八多町柳谷	八王子神社	B	↑	C
23	照葉樹林	コジイ群落	北区有野町有野	有間神社	A		B
24	照葉樹林	アラカシ群落	北区有野町有野	五社八幡宮	C		—
25	照葉樹林	ツクバネガシ群落	北区有野町唐櫃 (神鉄六甲駅南西)	山王神社	C		—
26	照葉樹林	シラカシーツクバネガシ群落	北区有野町唐櫃 (神鉄有馬口駅南西)	山王神社	C	↑	C
27	照葉樹林	ヒメユズリハ-カゴノキ群落	須磨区板宿町	板宿八幡神社	C	↑	—
28	照葉樹林	ヒメユズリハ-ヤマモモ群落	須磨区須磨寺町、西須磨	須磨寺	C		—
29	照葉樹林	ウバメガシ群落	須磨区西須磨 鉢伏山	鉢伏山	C		—
30	照葉樹林	ウバメガシ群落	須磨区多井畑町宮ノ脇	厄除八幡宮	C	↑	—
31	照葉樹林	ウバメガシ群落	垂水区下畑町城ヶ原	海神社	C	↑	C
32	照葉樹林	コジイ群落・ウバメガシ群落	垂水区名谷町奥ノ坊	転法輪寺	C		C
33	照葉樹林	コジイ群落・ウバメガシ群落	西区伊川谷町前開五味ヶ平	太山寺	A		A
34	照葉樹林	コジイ群落	西区伊川谷町布施畑大湯	大歳神社	C	↑	—
35	照葉夏緑湿交林	クスノキ-ムクノキ群落	東灘区御影町郡家石野	香雪美術館	C		—
36	照葉夏緑湿交林	クスノキ-ムクノキ群落	灘区八幡町	六甲八幡神社	C		—
37	夏緑樹林	ブナ群落	北区有馬町 六甲山	六甲山山頂	A		B
38	夏緑樹林	ヘラノキ群落	北区山田町原野 西脇山	原野	A		C
39	湿地植生	湿地植物群落	北区道場町生野	川下川ダム付近	B	↑	B
40	湿地植生	湿地植物群落	北山田町与左衛門新田	鰻ノ手池周辺谷部	C		—
41	湿地植生	湿地植物群落	北区淡河町野瀬	中山大池	B	↓	B
42	湿地植生	湿地植物群落	北区淡河町野瀬	天保池	C	↓	C
43	湿地植生	湿地植物群落	西区神出町古神	金棒池	B		C
44	池沼植生	オニバス群落	西区神出町田井	和合成池、長池	A		B
45	池沼植生	オニバス群落	西区押部谷町和田	ワラ谷池	A	追加	—
46	池沼植生	ヨシ群落	西区岩岡町岩岡	龍ヶ池	C	↑	—
47	海浜植生	海浜植物群落	須磨区一ノ谷町・須磨浦通	須磨浦	B		C
48	海浜植生	海浜植物群落	垂水区西舞子	西舞子海岸	C	↑	—
49	岩上植生	岩上植物群落	北区道場町生野	武庫川溪谷	A		A
50	草地植生	ススキ-ネザサ群落	東灘区本山町森	東お多福山	B		B
51	草地植生	ススキ-ネザサ群落	北区山田町藍那	水田畦畔草地	B		B
52	草地植生	ススキ-ネザサ群落	北区山田町中	水田畦畔草地	C	↑	—
53	草地植生	ススキ-ネザサ群落	北区山田町西下	水田畦畔草地	B		—
54	草地植生	ススキ-ネザサ群落	北区山田町東下	水田畦畔草地	C	↓	—
55	草地植生	メガルカヤ-ユウスゲ群落	西区神出町小束野	小束野池	B	↑	C
56	草地植生	ススキ-ネザサ群落	西区玉津町水谷	水田畦畔草地	B	追加	—
57	その他	着生植物個体群	中央区葺合町	布引滝	B		B
58	その他	再度山永久植生保存地	北区山田町下谷上 再度山		B		—

■ 鳥類サンクチュアリ(4ヶ所)

No.	サンクチュアリ名	場 所	選 定 理 由
1	菊水山のカラスザンショウ林	北区山田町下谷上 菊水山北側	ムギマキをはじめとしたヒタキ類の中継地
2	龍ヶ池のヨシ原	西区岩岡町岩岡 龍ヶ池	市内に残る最大のヨシ原 オオヨシキリなどヨシ原に依存する野鳥の生息地
3	平野町中津の大池	西区平野町中津 大池	冬期、常に多数のカモたちが生息する池
4	雌岡山周辺	西区神出町雌岡山及び その周辺	渡り鳥の重要な中継地、猛禽類の重要な越冬地



植物群落・鳥類サンクチュアリ位置図



スダジイ群落(大龍寺)(Aランク)



ブナ群落(六甲山山頂)(Aランク)



湿地植物群落(金棒池)(Bランク)



オニバス群落(和合成池)(Aランク)



海浜植物群落(須磨浦)(Bランク)



ススキネザサ群落
(水田畦畔草地)(Bランク)

4 神戸版ブラックリスト2015

神戸市の生態系や地域固有の生きものに影響を及ぼす(又は及ぼすおそれのある)外来種(外国や他地域から持ち込まれた生きもの)のリストを神戸版ブラックリストといいます。

神戸版ブラックリスト2015では、神戸市で現在確認されている種のほか、今後侵入の可能性が高く、侵入した場合、生態系に大きな影響を及ぼす種を「侵入警戒種」、緑化事業を進める際に注意する必要がある種を「緑化・植栽種」として選定しました。

選定対象生物群

神戸版レッドリスト2015で対象とした選定対象生物群にクモ類を加えました。

動物	哺乳類・鳥類・爬虫類・両生類・魚類・昆虫類・クモ類・甲殻類・貝類
植物	シダ植物・種子植物

カテゴリー

カテゴリー	概要
外来生物種	海外から侵入して生態系に著しい被害を与えている、または与えるおそれのある動植物で、すでに駆除等の対策が講じられているか、今後の実態把握に努めて対策を検討する必要がある種
侵入警戒種	神戸市では確認されていないが、今後侵入の可能性が高く、定着した場合に生態系や農林業、人への健康被害に及ぼす影響が大きいと予想される種
緑化・植栽種	国内他地域や国外から緑化・植栽の目的で移入されたことにより、生態系や遺伝子レベルでの悪影響が懸念されることから、緑化や植栽に際に情報を提供して注意を喚起する必要がある種

選定結果

分類		外来生物種	侵入警戒種	緑化・植栽種	合計
動物	哺乳類	5(2)	0	—	5(2)
	鳥類	1(1)	0	—	1(1)
	爬虫類	2(2)	0	—	2(2)
	両生類	1(1)	0	—	1(1)
	魚類	4(4)	0	—	4(4)
	昆虫類	1(1)	1	—	2(1)
	クモ類	1(1)	0	—	1(1)
	甲殻類	1(1)	0	—	1(1)
	貝類(陸産)	1(0)	1	—	2(0)
	貝類(淡水・汽水産)	3(3)	0	—	3(3)
植物(シダ植物・種子植物)		52(23)	4	16(16)	72(39)
合計		72(39)	6	16(16)	94(55)

※()内はブラックリスト2010における種数

コラム 外来種対策は初期対応が重要

オオバナミズキンバイという水草はアメリカ大陸原産で、2009年に琵琶湖で確認されました。確認当初の生育面積は142㎡でしたが、3年後には180,000㎡まで広がりました。この大繁殖は生態系だけでなく、船舶の航行を妨げ、漁業にも影響が出ています。植物の一部でも残ればそこから発根し、増え続けるので、防除は容易ではありません。外来種の対策には初期の対応が何よりも大切です。

本種は神戸市では確認されていませんが、いったん侵入して繁殖してしまうと生態系に大きな影響を及ぼすため侵入警戒種に選定しています。



オオバナミズキンバイの駆除作業(琵琶湖赤野井湾)

神戸版ブラックリスト2015

外来生物種

■動物(20種)

分類	科名	種和名	兵庫県ブラックリスト2010	環境省外来生物法	生態系被害防止外来種リスト
哺乳類	ネズミ科	クマネズミ	Z		総合対策・緊急
	ヌートリア科	ヌートリア	Z	特定	総合対策・緊急
	アライグマ科	アライグマ	Z	特定	総合対策・緊急
	イタチ科	チョウセンイタチ	Z		総合対策・緊急
	ジャコウネコ科	ハクビシン	Z		総合対策・緊急
鳥類	チメドリ科	ソウシチョウ	Z	特定	総合対策・重点
爬虫類	ヌマガメ科	アカミミガメ			総合対策・緊急
	カミツキガメ科	カミツキガメ	Z	特定	総合対策・緊急
両生類	アカガエル科	ウシガエル	Z	特定	総合対策・重点
魚類	コイ科	タイリクバラタナゴ	Y		総合対策・重点
	カダヤシ科	カダヤシ	Y	特定	総合対策・重点
	サンフィッシュ科	ブルーギル	Z	特定	総合対策・緊急
	サンフィッシュ科	オオクチバス	Z	特定	総合対策・緊急
昆虫類	アリ科	アルゼンチンアリ	Z	特定	総合対策・緊急
クモ類	ヒメグモ科	セアカゴケグモ	Z	特定	総合対策・緊急
甲殻類	アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ	Y		総合対策・緊急
貝類(陸産)	クチミゾガイ科	クチミゾガイ亜属の一種			
貝類(淡水・汽水産)	リンゴガイ科	スクミリンゴガイ	Z		総合対策・重点
	イガイ科	コウロエンカワヒバリガイ		特定	総合対策・その他
	シジミ科	タイワンシジミ	Z		総合対策・その他

■植物(52種)

科名	種和名	兵庫県ブラックリスト2010	環境省外来生物法	生態系被害防止外来種リスト
イワヒバ科	コンテリクラマゴケ			総合対策・その他
アカウキクサ科	外来アゾラ類	Z	特定*	総合対策・緊急
スイレン科	ハゴロモモ			総合対策・重点
アブラナ科	オランダガラシ			総合対策・重点
マメ科	イタチハギ	Z		総合対策・重点
マメ科	アレチヌスビトハギ			総合対策・その他
マメ科	ハリエンジュ	Z		産業管理
ニガキ科	シンジュ	Y		総合対策・重点
ウリ科	アレチウリ	Z	特定	総合対策・緊急
アカバナ科	コマツヨイグサ	Y		総合対策・重点
アリノトウグサ科	オオフサモ	Z	特定	総合対策・緊急
セリ科	ブラジルチドメグサ	Z	特定	総合対策・緊急
セリ科	ウチワゼニクサ	Y		総合対策・重点
キョウチクトウ科	ツルニチニチソウ			総合対策・重点
アカネ科	オオフトバムグラ			総合対策・その他
アカネ科	メリケンムグラ			
ヒルガオ科	アメリカネナシカズラ			総合対策・その他
ヒルガオ科	アメリカアサガオ			総合対策・重点
ヒルガオ科	マルバアメリカアサガオ			総合対策・重点
ヒルガオ科	マメアサガオ			
ヒルガオ科	マルバアサガオ			総合対策・重点
ヒルガオ科	ホシアサガオ			総合対策・その他
クマツヅラ科	ヤナギハナガサ			総合対策・その他
クマツヅラ科	アレチハナガサ	Y		総合対策・その他
フジウツギ科	フサフジウツギ	Z		総合対策・重点
ゴマノハグサ科	ウキアゼナ			総合対策・その他
ゴマノハグサ科	オオカワヂシャ	Z	特定	総合対策・緊急

※特定外来生物に指定されているのはアゾラ・クリスタータ。

■ 植物(つづき)

科名	種和名	兵庫県ブラックリスト2010	環境省外来生物法	生態系被害防止外来種リスト
タヌキモ科	エフクレタヌキモ			総合対策・重点
キク科	クワモドキ	Z		総合対策・重点
キク科	オオキンケイギク	Z	特定	総合対策・緊急
キク科	キクイモ	Y		
キク科	オオハンゴンソウ	Z	特定	総合対策・緊急
キク科	ナルトサワギク	Z	特定	総合対策・緊急
キク科	セイタカアワダチソウ	Y		総合対策・重点
キク科	メリケントキンソウ			
キク科	アカミタンポポ			総合対策・重点
キク科	セイヨウタンポポ			総合対策・重点
トチカガミ科	オオカナダモ	Z		総合対策・重点
トチカガミ科	コカナダモ	Y		総合対策・重点
ミズアオイ科	ホテイアオイ	Z		総合対策・重点
アヤメ科	キショウブ	Y		総合対策・重点
ツユクサ科	ノハカタカラクサ			総合対策・重点
イネ科	シナダレスズメガヤ	Z		総合対策・重点
イネ科	キシウスズメノヒエ			総合対策・その他
イネ科	チクゴスズメノヒエ			総合対策・重点
イネ科	モウソウチク	Y		産業管理
イネ科	セイバンモロコシ	Y		総合対策・その他
ヤシ科	シュロ			総合対策・その他
ヤシ科	トウジュロ			総合対策・その他
サトイモ科	ボタンウキクサ	Z	特定	総合対策・緊急
カヤツリグサ科	シュロガヤツリ			総合対策・重点
カヤツリグサ科	メリケンガヤツリ			総合対策・重点

■ 侵入警戒種(6種)

分類	科名	種和名	兵庫県ブラックリスト2010	環境省外来生物法	生態系被害防止外来種リスト
昆虫類	カミキリムシ科	クビアカツヤカミキリ			総合対策・その他
貝類(陸産)	オカクチキレガイ科	オオクビキレガイ	Y		総合対策・その他
植物(種子植物)	アカバナ科	オオバナミズキンバイ	Z		総合対策・その他
	オモダカ科	ナガバオモダカ			総合対策・重点
	ヒユ科	ナガエツルノゲイトウ	Z	特定	総合対策・緊急
	キク科	ミスヒマワリ	Z	特定	総合対策・緊急

凡例

- 兵庫県ブラックリスト2010
(兵庫県の生物多様性に悪影響を及ぼす外来生物リスト)
Y:注意種
Z:警戒種
- 環境省 外来生物法
(特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律)
特定:特定外来生物
- 生態系被害防止外来種リスト
(我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト)
総合対策:総合的に対策が必要な外来種
緊急(緊急対策外来種)
重点(重点対策外来種)
その他(上記いずれにも該当しない種)
産業管理:適切な管理が必要な産業上重要な外来種

■ 緑化・植栽種(16種)

科名	種和名	兵庫県ブラックリスト2010	環境省外来生物法	生態系被害防止外来種リスト
カバノキ科	オオバヤシャブシ	Z (県外産・国外産)		
スイレン科	園芸スイレン	Y		総合対策・重点
バラ科	タチバナモドキ	Y		総合対策・その他
バラ科	トキワサンザシ	Y		総合対策・その他
マメ科	キダチコマツナギ	Z (県外産・国外産)		
マメ科	ヤマハギ	Z (県外産・国外産)		
マメ科	メドハギ	Z (県外産・国外産)		
マメ科	マルバハギ	Z (県外産・国外産)		
トウダイグサ科	ナンキンハゼ	Z		総合対策・その他
モクセイ科	トウネズミモチ	Z		総合対策・重点
モクセイ科	セイヨウイボタ(ヨウシュイボタ)	Y		
イネ科	オニウシノケグサ			産業管理
イネ科	ネズミホソムギ			産業管理
イネ科	ネズミムギ	Z		産業管理
イネ科	ホソムギ			産業管理
イネ科	ボウムギ			産業管理



ヌートリア(外来生物種)



アカミミガメ(外来生物種)



ミズヒマワリ(侵入警戒種)

コラム クサガメは外来種？

クサガメをご存知ですか？クサガメは日本に昔からいたカメと考えられてきましたが、最近になって江戸時代以降に日本に持ち込まれた外来のカメという説が有力となってきました。クサガメが外来種であるという根拠としては以下のものがあります。

- ① 日本ではクサガメの化石が出土されていない。
- ② 日本の遺跡からイシガメの甲羅などは出土されるが、クサガメのものは見つからない。
- ③ わが国でクサガメが文献で初めて登場するのは19世紀の初頭に発刊されたものである。
- ④ 遺伝子解析の結果から日本のクサガメは朝鮮半島と中国大陸のそれぞれ別ルートで持ち込まれたことが判明している。

クサガメとイシガメは同じところに生息し、交雑し、その雑種も繁殖能力があることがわかってきました。今後はクサガメを外来種として取扱い、防除を考えないといけない時が来るかもしれません。



クサガメ

5 | 神戸市での保全の取り組み

市民と取り組むアカミミガメの防除

アカミミガメは、ミドリガメとして知られ、在来のカメ類に大きな影響を与えている外来のカメです。

アカミミガメが広く分布している明石川水系(西区)を中心に行政、市民団体等が一体となって防除を行っています。防除とともに市民の皆さんに遺棄や逸出の防止等呼び掛けています。



アカミミガメ防除の様子

きせつの生きものさがしガイド

神戸市では、平成25年度より、理科授業の副教材として、生きものの学習をはじめめる小学3年生全員及び教職員を対象に、神戸における身近な生きものが見られる時期、場所、外見上の特徴、見分け方等について写真入りで記載した「きせつの生きものさがしガイド」を作成し配布しています。

子どもたちが生きものと触れあう機会が減少しているとも言われています。子どもたちが生きものを通じて季節の変化を体感し、身近な生きものと触れあうことで自然に親しみ、興味を深めることができるよう継続した取り組みを行っています。

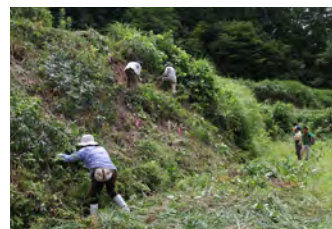


多様な団体による希少種の生育、生息環境の保全

北区山田町に広がる山間の棚田には、オカオグルマ(Bランク)やカスミサンショウウオ(Bランク)をはじめ、希少な動植物が今なお生息・生育しています。

これらの動植物は、耕作により管理された環境で生息・生育してきましたが、耕作者の高齢化などにより維持が難しい状況となっています。

そこで、生物多様性保全活動団体のほか、棚田の所有者、就農希望者、大学、行政等がそれぞれの役割を分担しながら、協力、連携して畦畔の草刈り、動植物の生息・生育状況の調査、試験的な営農などを進めています。



棚田での活動

事業者による希少種保全の取り組み

六甲山上にあって、日本最古のゴルフ場である神戸ゴルフ倶楽部は、大幅な土地改変が行われず、適度な草刈り管理が行われてきました。その結果、全国的にも少なくなった草原生植物が数多く残されている重要な場所となっています。

神戸市内に残された貴重な自然や希少な生きものを知ってもらい、生物多様性の保全を考えるきっかけとなるよう、神戸市と事業者が連携して、市民向けの草原生植物観察会を開催しています。



草原生植物観察会

6 | おわりに

生物多様性は、自然環境や生態系のバランスにより守られ、育てられています。神戸市には多くの生きものが見られますが、今回まとめた「神戸版レッドデータ2015」にあげられた動植物以外にも、まだまだ多くの生きものが絶滅の危機に瀕していると思われます。

これ以上、絶滅に向かう動植物を増やさないようにするとともに、生物多様性を保全し、自然の恵みを子どもたちや孫たち、そして未来の子どもたちにつないでいく必要があります。

また、最近、飼えなくなったペットの遺棄や、イノシシなどの野生生物への餌やりなどにより、生態系のバランスが崩れ、私たち人間の暮らしにも様々な影響を与えています。

身近な自然に目を向け、大切に守り、育て、神戸の優れた自然環境を次世代に残していきましょう。

「神戸版レッドデータ2015」の検討体制

検討委員会

動植物の専門家で構成する「神戸版レッドデータ2010改訂に係る推進委員会」において、検討を行いました。

神戸版レッドデータ2010改訂に係る推進委員会 委員名簿

専 門		委員名	所 属
動 物	哺乳類	横山 真弓	兵庫県立大学教授
	鳥類	北野 光良	神戸市立星陵台中学校教諭
	爬虫・両生・魚類	安井 幸男	兵庫・水辺ネットワーク幹事
	昆虫類	八木 剛	兵庫県立人と自然の博物館主任研究員
	昆虫類	今給黎 靖夫	自然写真家
	甲殻類	渡部 哲也	西宮市貝類館研究員
	貝類	大原 健司	元西宮市貝類館研究員
植 物	植物	黒崎 史平	頌栄短期大学名誉教授
	植物	鈴木 武	兵庫県立大学助教
	植物	小林 禧樹	兵庫県植物誌研究会代表
	植物群落	武田 義明 [※]	神戸大学名誉教授

※委員長

協力者

神戸版レッドデータ2010改訂に係る推進委員会での検討を行うにあたり、以下の方々に専門的な見地からご意見、写真提供をいただきました。

分 野	協力者氏名等
哺乳類	石井 克彦 大沼 弘一 恩地 実 鈴木 武 神戸市立森林植物園
鳥類	日本野鳥の会ひょうご 松重 和太
爬虫類・両生類	大沼 弘一 土井 敏男
魚類	土井 敏男
昆虫類	青木 典司 池田 大 市川 顕彦 市川 憲平 植田 義輔 大塚 義久 久保 弘幸 近藤 伸一 内藤 親彦 中峰 空 長島 聖大 前藤 薫 三木 進 森 正人 吉田 浩史
甲殻類	土井 敏男 安井 幸男
貝類	大垣内 宏 大古場 正 大谷 洋子 葛井 亮介 鈴木 章司 田中 博美 福場 逸子 安井 幸男
植物	角野 康郎 清水 孝之 松岡 成久 三宅 慎也 水田 光雄

注)協力者には写真提供者を含んでいます

索引

種和名	ページ	No.	種和名	ページ	No.	種和名	ページ	No.
哺乳類			鳥類			魚類		
アカネズミ	10	13	チュウジシギ	11	35	ギギ	13	19
アナグマ	10	16	チュウシャクシギ	11	37	ギンブナ	13	3
イタチ	10	19	チュウヒ	11	59	クロヨシノボリ	13	30
カヤネズミ	10	15	チョウゲンボウ	11	76	コウライモロコ	13	14
カワネズミ	10	2	ツツドリ	11	21	ゴクラクハゼ	13	27
キクガシラコウモリ	10	6	ツバメチドリ	11	53	シマヨシノボリ	13	28
キツネ	10	17	ツミ	11	60	シロヒレタビラ	13	8
コウベモグラ	10	4	ツリスガラ	11	82	スミウキゴリ	13	25
コキクガシラコウモリ	10	5	ツルシギ	11	38	スナヤツメ南方種	13	1
ジネズミ	10	1	トウネン	11	46	チュウガタスジシマドジョウ	13	17
スミスネズミ	10	11	トモエガモ	10	6	ドジョウ	13	15
テン	10	18	トラツグミ	12	87	ナガレホトケドジョウ	13	18
ニホンリス	10	8	トラフスク	11	68	ニッポンバラタナゴ	13	9
ハタネズミ	10	12	ノジコ	12	92	ニホンウナギ	13	2
ヒメズ	10	3	ノスリ	11	64	ヒガイ類	13	11
ヒメネズミ	10	14	ハイタカ	11	61	ミナミメダカ	13	22
ムササビ	10	10	ハチクマ	11	58	ミズハゼ	13	24
モモンガ	10	9	ハマシギ	11	50	ムギツク	13	12
ユビナガコウモリ	10	7	ハヤブサ	11	78	ヤリタナゴ	13	4
鳥類			ハリオシギ	11	33	昆虫類		
アオアシシギ	11	41	ヒクイナ	10	18	アイヌハンミョウ	15	124
アオゲラ	11	75	ヒバリシギ	11	48	アオサナエ	13	21
アオシギ	11	31	ヒロードキンクロ	10	8	アオバセセリ本土亜種	14	76
アオバズク	11	67	フクロウ	11	66	アオハダトンボ	13	10
アカアシシギ	11	39	ブッポウソウ	11	72	アオヤンマ	13	13
アカエリヒレアシシギ	11	51	ホオアカ	12	91	アカガネコンボウハバチ	16	177
アカゲラ	11	74	ホトトギス	10	20	アカマダラハナムグリ	16	152
アカショウビン	11	70	ミサゴ	11	57	アキアカネ	14	36
アジサシ	11	55	ミソゴイ	10	10	イトアメンボ	14	58
アマサギ	10	13	ミンサザイ	12	85	イナゴモドキ	14	52
アリスイ	11	73	ムナグロ	11	25	ウマノオバチ	16	182
イカルチドリ	11	26	ヤイロチョウ	11	79	ウラギンスジヒョウモン	15	92
ウスラ	10	1	ヤマシギ	11	30	ウラギンヒョウモン	15	96
ウスラシギ	11	49	ヤマセミ	11	71	ウラギンヒョウモン	15	96
ウミスズメ	11	58	ヤマドリ	10	2	ウラゴマダラシジミ	14	82
オオコノハズク	11	65	ヨシガモ	10	4	ウラナミアカシジミ	14	84
オオジシギ	11	32	ヨシゴイ	10	9	ウラナミジャノメ本土亜種	15	104
オオジュリン	12	94	ヨタカ	11	23	ウラミスジシジミ	15	89
オオタカ	11	62	爬虫類			エサキアメンボ	14	57
オオマシコ	12	90	アオダイショウ	12	7	エソゼミ	14	53
オオヨシキリ	12	83	アカウミガメ	12	1	エソトンボ	14	31
オグロシギ	11	36	ジムグリ	12	6	オオイトトンボ	13	8
オシドリ	10	3	シロマダラ	12	9	オオウラギンスジヒョウモン	15	93
オジロトウネン	11	47	タカチホヘビ	12	5	オオウラギンヒョウモン	15	97
カッコウ	11	22	タウヤモリ	12	4	オオキトンボ	14	42
カヤクグリ	12	89	ニホンイシガメ	12	2	オオクワガタ	16	151
カワガラス	12	86	ニホンスッポン	12	3	オオシモフリスズメ	15	105
キアシシギ	11	44	ヒバカリ	12	8	オオシロカミキリ	16	168
クイナ	10	17	両生類			オオチャバネセセリ	14	80
クサシギ	11	42	アカハライモリ	12	4	オオトゲエラカゲロウ	13	3
クロジ	12	93	オオサンショウウオ	12	3	オオフタオカゲロウ	13	2
コアオアシシギ	11	40	カジカガエル	12	13	オオフタホシマダラゴガネ	16	153
コアジサシ	11	54	カスミサンショウウオ	12	1	オオミズスマシ	15	141
ゴイサギ	10	11	シュレーゲルアオガエル	12	11	オオミズムシ	14	60
コサギ	10	16	タゴガエル	12	6	オオミドリシジミ	14	83
コサメビタキ	12	88	ツチガエル	12	9	オオムラサキ	15	100
コチドリ	11	27	ナゴヤダルマガエル	12	10	オグマサナエ	13	25
コチョウゲンボウ	11	77	ニホンアカガエル	12	7	オサムシモドキ	15	120
コムミスズク	11	69	ニホンヒキガエル	12	5	オジロサナエ	13	23
コヨシキリ	12	84	ヒダサンショウウオ	12	2	オナガサナエ	13	20
ササゴイ	10	12	モリアオガエル	12	12	ガガンボカゲロウ	13	1
サシバ	11	63	ヤマアカガエル	12	8	カタキハナカミキリ	16	171
サンコウチョウ	11	81	魚類			カタツムリトビケラ	14	72
サンショウクイ	11	80	アカザ	13	20	カツラネクイハムシ	16	176
シノリガモ	10	7	アブラボテ	13	5	カトリヤンマ	13	16
シマアジ	10	5	アユ	13	21	ガムシ	16	149
ジュウイチ	10	19	イチモンジタナゴ	13	7	カヤキリ	14	45
シロチドリ	11	28	イトモロコ	13	13	カヤコオロギ	14	47
セイタカシギ	11	29	ウキゴリ	13	26	カラトイスカバチ	16	186
ソリハシシギ	11	45	オオシマドジョウ	13	16	カワラゴミムシ	16	148
ダイサギ	10	14	オオヨシノボリ	13	29	キアシキンシギアブ	15	112
タカブシギ	11	43	カネヒラ	13	6	キアシハナダカバチモドキ	16	185
タゲリ	11	24	カワアナゴ	13	23	キイロコガシラミスムシ	16	145
タシギ	11	34	カワバタモロコ	13	10	キイロサナエ	13	18
タマシギ	11	52				キイロミヤマカミキリ	16	166
チュウサギ	10	15				キイロヤマトンボ	14	28
						キゴシジガバチ	16	187
						キタヤチスズ	14	51

種和名	ページ	No.	種和名	ページ	No.	種和名	ページ	No.
昆虫類			昆虫類			貝類 (陸産)		
キトンボ	14	35	ノシメトンボ	14	38	イセノナミマイマイ	17	13
キノコゴミムシ	15	122	ハッチョウトンボ	14	34	イボイボナメクジ	17	5
キハダカノコ	15	106	ハネヒロエゾトンボ	14	29	ウメムラシタラガイ	17	7
ギフチョウ	15	101	ハリサシガメ	14	54	キセルガイモドキ	17	3
キベリクロヒメゲンゴロウ	15	135	ヒゲコガネ	16	157	キューリキマイマイ	17	14
キベリマルクビゴミムシ	15	123	ヒトスジキソトビケラ	14	74	クチマガリマイマイ	17	12
ギンイチモンジセセリ	14	78	ヒメクロサナエ	13	19	ケハダヒロウドマイマイ	17	8
キンイロネクイハムシ	16	175	ヒメケシゲンゴロウ	15	134	ゴマオカタニシ	17	1
クチキコオロギ	14	46	ヒメゲンゴロウ	15	140	ヌノビケケマイマイ	17	11
クチナガコオロギ	14	50	ヒメコオロギ	14	48	ハゲギセル	17	4
クツムシ	14	44	ヒメタイコウチ	14	63	ハリマムシオイ	17	2
クモガタヒョウモン	15	98	ヒメヒカゲ本州西部亜種	15	103	ヒメコギセル	17	6
クリストフコトラカミキリ	16	172	ヒメボタル	16	160	ヒロウドマイマイ	17	9
クレメンスナガレトビケラ	14	70	ヒメミズスマシ	15	143	マヤサンマイマイ	17	10
クロカナブン	16	158	フクイアナバチ	16	188			
クロゲンゴロウ	15	125	ヘイケボタル	16	159	貝類 (淡水・汽水産)		
クロシジミ	15	86	ベッコウトンボ	14	32	アラムシロガイ	17	11
クロツバメシジミ中国地方・四国・九州内陸亜種	15	88	ベニイトトンボ	13	5	イナバメタニシ	17	9
クロツヤコオロギ	14	49	ベニバハナカミキリ	16	169	ウネナシトマヤガイ	17	16
クロマゲンゴロウ	15	139	ヘリグロチャバネセセリ	14	81	ウミニナ	17	5
クロモンヒラナガゴミムシ	15	121	ホソバセセリ	14	77	オキナガイ	17	20
グンバイトンボ	13	9	ホッケミスムシ	14	59	カガミガイ	17	19
ケシゲンゴロウ	15	133	ホンサナエ	13	22	クリイロカワザンショウガイ	17	7
ゲンゴロウ	15	126	マイコアカネ	14	39	クルマヒラマキガイ	17	12
ケンランアリノスアブ	15	117	マイマイツツハナバチ	16	192	クロダカワニナ	17	3
ゴイシシジミ	15	87	マダラコガシラミスムシ	16	146	サルボウガイ	17	13
コウベキヌゲハキリバチ	16	191	マダラシマゲンゴロウ	15	131	ツブカワザンショウガイ	17	8
コウベツブゲンゴロウ	15	136	マダラナニウトンボ	14	40	ドブシジミ	17	18
コガタノゲンゴロウ	15	128	マヤサンコバヤハスカミキリ	16	167	ヒメコザラ (ツボミガイ型)	17	1
コカブトムシ	16	154	マルガタゲンゴロウ	15	129	ヒメシラトリガイ	17	15
コシロシタバ	15	107	マルケシゲンゴロウ	15	132	ヒメマルマメタニシ	17	10
コバネアオイトトンボ	13	4	マルコガタノゲンゴロウ	15	127	ホソウミニナ	17	4
コバンムシ	114	66	マルタンヤンマ	13	15	マシジミ	17	17
ゴマシオキシタバ	15	109	ミサキツノトビケラ	14	73	マルウスラタマキガイ	17	6
コムズスマシ	15	142	ミスアブ	15	113	マルタニシ	17	2
サカハチチョウ	15	91	ミスジチョウ	15	99	ミルクイガイ	17	14
サツマヒメカミキリ	14	43	ミススマシ	16	144			
サトセナガアナバチ	16	184	ミスバチ	16	183	植物		
サラサヤンマ	13	17	ミドリシジミ	14	85	アイナエ	21	212
サラサリンガ	16	110	ミヤマアカネ	14	41	アオイゴケ	21	232
シジミガムシ	16	150	ミヤマチャバネセセリ	14	79	アオオニテンナンショウ	24	386
シバカワツリアブ	15	116	ムカシトンボ	13	11	アオネカズラ	18	59
シマゲンゴロウ	15	130	ムカシヤンマ	14	26	アオフタバラン	25	459
シャープツブゲンゴロウ	15	138	ムスジイトトンボ	13	7	アオベンケイ	20	125
ジュウクホシテントウ	16	161	ムツボシツヤコツブゲンゴロウ	16	147	アオホラゴケ	18	13
ジュウサンホシテントウ	16	162	メスグロヒョウモン	15	94	アオヤギバサ	23	317
シルビアシジミ	15	90	モートンイトトンボ	13	6	アカネスミレ	20	177
シロスジコガネ	16	156	ヤノトラカミキリ	16	174	アカハナワラビ	18	6
シロヘリツチカメムシ	14	55	ヤマトオサムシダマシ	16	163	アギナシ	23	323
スミスシロオビバチ	16	180	ヤマトクロスジヘビトンボ	14	68	アキノハハコグサ	22	298
スミナガシ本土亜種	15	95	ヤマトスジグロシロチョウ	15	102	アケボノシュスラン	25	452
セアカオサムシ	15	119	本州以南亜種	15	102	アサザ	21	217
セグロベントゲアシガ	14	75	ヨコヤマヒメカミキリ	16	165	アズマガヤ	23	365
セダカコバヤハスカミキリ	16	170	ヨツボシカミキリ	16	173	アゼオトギリ	19	112
タイリククロスジヘビトンボ	14	67	ヨツボシトンボ	14	33	アツギノヌカイタチシダマガイ	18	38
センノキカミキリ	16	164	ユツボツブゲンゴロウ	15	137	アブノメ	22	256
タカネトンボ	14	30	ルリハナアブ	15	118	アマクサシダ	18	22
タガメ	14	62	ルリボシヤンマ	13	14	アマナ	23	351
タバサナエ	13	24	レゼイナガレトビケラ	14	71	アヤメ	23	355
チャバネヒゲナガカワトビケラ	14	69				アリマグミ	20	175
ツマグロアカハバチ	16	179	甲殻類			アリマコスズ	24	383
ツヤスジコガネ	16	155	アカテガニ	17	6	アワボスゲ	24	399
トゲツヤイシアブ	15	114	アシハラガニ	17	10	アンペライ	24	422
トゲナベバタムシ	13	64	クロベンケイガニ	17	5	イガタツナミソウ	21	248
トサドリキバチ	16	181	スナガニ	17	4	イガホオズキ	22	251
トモンハナバチ	16	190	ハマガニ	17	9	イシカグマ	18	16
トラツリアブ	15	115	ヒラテテナガエビ	17	2	イシモチソウ	19	114
トラフトンボ	14	27	フタバカクガニ	17	7	イズセンリョウ	21	207
ナガミスムシ	14	61	ベンケイガニ	17	8	イソアオスゲ	24	406
ナシアシブトババチ	16	178	ミナミテナガエビ	17	1	イソヤマテンツキ	24	421
ナニウトンボ	14	37	ヨモギホンヤドカリ	17	3	イチリンソウ	19	89
ナベバタムシ	14	65				イトトリゲモ	23	333
ナマリキシタバ	15	108				イトモ	23	330
ナミルリモンハナバチ	16	189				イナモリソウ	21	229
ニシキケンカメムシ	14	56				イヌイ	23	359
ネアカヨシヤンマ	13	12				イヌショウマ	19	90
ネグロクサアブ	15	111				イヌセンブリ	21	213

種和名	ページ	No.	種和名	ページ	No.	種和名	ページ	No.
植物			植物			植物		
イヌチャセンシダ	18	27	カタクリ	23	338	サワギキョウ	22	280
イヌナズナ	19	121	カノツメソウ	21	195	サワグルミ	19	64
イヌノフグリ	22	263	カミガモシダ	18	23	サンショウモ	19	63
イヌハギ	20	152	カモノハシ	24	376	シオガマギク	22	260
イブキトリカブト	19	85	カヤラン	25	468	ジガバチソウ	25	457
イブキボウフウ	21	193	カラクサシダ	18	20	シギンカラマツ	19	96
イワイタチシダ	18	41	カリガネソウ	21	235	シシラン	18	21
イワキンバイ	20	137	カワチシャ	22	264	シズイ	24	429
イワトラノオ	18	28	カワミドリ	21	237	シソクサ	22	257
イワナシ	21	200	カワラサイコ	20	136	シノブ	18	17
イワハリガネワラビ	18	45	カワラナデシコ	19	79	シマカンギク	22	295
イワヘゴ	18	33	カワラボウフウ	21	192	シャクジョウソウ	21	197
ウエマツソウ	23	336	カンザシギボウシ	23	342	ジャコウソウ	21	240
ウシカバ	20	169	キキョウ	22	281	ジュウニヒトエ	21	238
ウスゲタマブキ	22	290	キクアザミ	23	311	シロガヤツリ	24	418
ウスバサイシン	19	105	キクモ	22	258	シロテンマ	25	451
ウチョウラン	25	462	キケマン	19	117	シロバナイナモリソウ	21	230
ウマスゲ	24	403	キジカクシ	23	337	ジロボウエンゴサク	19	116
ウメガサソウ	21	196	キシダナムシグサ	24	388	シロヤシオ	21	206
ウメバチソウ	20	133	キジョラン	21	222	ジンバイソウ	25	463
ウラゲウコギ	20	186	キセウタ	21	241	スズサイコ	21	221
ウラボシノコギリシダ	18	47	キヌタソウ	21	226	スズメノコビエ	24	381
ウリノキ	20	185	キバナアキギリ	21	247	スプタ	23	325
ウンゼンマンネングサ	20	128	ギフベニシダ	18	36	セイタカハリイ	24	419
ウンヌケモドキ	24	373	キヨスミウツボ	22	269	セッコク	25	447
ウンラン	22	259	キヨスミギボウシ	23	343	セトエゴマ	21	246
エイザンスミレ	20	176	キンキカサスゲ	24	409	ダイセンミツバツツジ	21	205
エソエノキ	19	71	キンキヒョウタンボク	22	276	タイミンタチバナ	21	208
エソタチカタバミ	20	157	キンラン	25	441	タウコギ	22	288
エビネ	25	439	ギンラン	25	440	タカサゴソウ	22	302
エビラシダ	18	54	クゲヌマラン	25	443	タカトウダイ	20	160
オウレン	19	92	クサナギオゴケ	21	219	タカネマスクサ	24	410
オウレンシダ	18	15	クサボケ	20	135	タウコギ	22	288
オオアリドオシ	21	224	クモラン	25	469	タカサゴソウ	22	302
オオイヌノハナヒゲ	24	425	クリハラン	18	58	タカトウダイ	20	160
オオカナワラビ	18	31	クルマシダ	18	29	タカネマスクサ	24	410
オオクボシダ	18	61	クロウメモドキ	20	173	タカノハウラボシ	18	56
オオシロガヤツリ	24	417	ケシンジュガヤ	24	434	タキキビ	24	382
オオタマツリスゲ	24	402	ケスハマソウ	19	87	タコノアシ	20	134
オオツクバネウツギ	22	274	ケナシベニノヤマシャクヤク	19	108	タシロラン	25	449
オオトリゲモ	23	334	コイヌガラシ	19	122	タチカモメツル	21	220
オオナキリスゲ	24	397	コウザキシダ	18	25	タチコウガイゼキショウ	23	358
オオナンバンギセル	22	267	コウボウ	24	375	タチスズシロソウ	19	119
オオバクサフジ	20	156	コウボウムギ	24	404	タチネコノメソウ	20	130
オオフトイ	24	427	コウヤザサ	23	367	タチネズミガヤ	24	380
オオフユイチゴ	20	144	コウヤミスギ	19	124	タチモ	20	183
オオホシクサ	23	360	コウリンカ	23	312	タニジャコウソウ	21	239
オオヤマハコベ	19	80	コオニユリ	23	346	タニヘゴ	18	40
オカオグルマ	23	313	コガマ	24	396	タヌキマメ	20	147
オガタモノキ	19	82	コカモメツル	21	223	タマミズキ	20	168
オカヒジキ	19	81	ゴキツル	20	179	タムラソウ	23	315
オキナグサ	19	93	コゴメスゲ	24	400	ダンチク	23	364
オギノツメ	22	265	コタニワタリ	18	26	タンナトリカブト	19	86
オクタマシダ	18	24	コバギボウシ	23	344	チャボイノデ	18	42
オグルマ	22	300	コバナガンクビソウ	22	292	チャルメルソウ	20	132
オケラ	22	287	コバノチョウセンエノキ	19	70	ツクシイワヘゴ	18	34
オサシダ	18	30	コバノトンボソウ	25	465	ツクシクロイヌノヒゲ	23	362
オシダ	18	35	コバノヒルムシロ	23	329	ツクシメナモミ	23	316
オタカラコウ	22	304	コヒロハハナヤスリ	18	8	ツゲ	20	171
オトコゼリ	19	95	ゴマギ	22	277	ツチグリ	20	138
オナモミ	23	320	ゴマクサ	22	255	ツツラフジ	19	98
オニスゲ	24	401	ゴマノハグサ	22	261	ツメレンゲ	20	126
オニノヤガラ	25	450	コモウセンゴケ	19	115	ツリフネソウ	20	166
オニバス	19	99	コヤブラン	23	347	ツルキンバイ	20	140
オニルリソウ	21	233	サイコクヌカボ	19	74	ツルナ	19	78
オヤマムグラ	21	227	サイコクヒメ	19	100	ツルフジバカマ	20	154
カガシラ	24	432	サイハイラン	25	444	ツルミヤマカンスゲ	24	408
ガガバタ	21	216	サガミトリゲモ	23	332	テイショウソウ	22	283
カギカズラ	21	231	サギソウ	25	453	テリハキンバイ	20	139
カキツバタ	23	354	サクラバハノキ	19	65	デンジソウ	18	62
カキノハグサ	20	161	ササバギンラン	25	442	トキソウ	25	466
カキラン	25	448	サツキ	21	202	トキワイカリソウ	19	97
カザグルマ	19	91	サツマイナモリ	21	228	トキワガキ	21	209
カジカエデ	20	163	サデクサ	19	76	ドクゼリ	21	190
カシワ	19	69	サトヤマハリスゲ	24	413	トケンラン	25	445
カシワバハグマ	22	307	サラサドウダン	21	199	トチカガミ	23	327
カセンソウ	22	301	サルナシ	19	109	トモエソウ	19	111
カタイノデ	18	43	サワオグルマ	23	314	トラノオジソ	21	245

種和名	ページ	No.	種和名	ページ	No.	種和名	ページ	No.
植物			植物			植物		
トラノハナヒゲ	24	424	ヒメシオン	22	286	ミスオオバコ	23	328
ナガエミクリ	24	394	ヒメシロアサザ	21	215	ミスオトギリ	19	113
ナガバノイタチシダ	18	39	ヒメタヌキモ	22	272	ミスズギ	18	2
ナガバノウナギツカミ	19	75	ヒメミクリ	24	395	ミスタガラシ	19	120
ナガバノコウヤボウキ	22	306	ヒメミコシガヤ	24	405	ミズトンボ	25	454
ナガボノワレモコウ	20	145	ヒメミソハギ	20	180	ミスニラ	18	5
ナチシケシダ	18	50	ヒメユリ	23	345	ミスマツバ	20	181
ナツツバキ	19	110	ヒメヨモギ	22	285	ミスメ	19	66
ナツノハナワラビ	18	7	ヒメレンゲ	20	129	ミスワラビ	18	19
ナラガシワ	19	68	ヒヨドリバナニバイタイ	22	297	ミソナオシ	20	148
ニワフジ	20	150	ヒロードシダ	18	60	ミチシバ	24	377
ヌマカゼクサ	23	372	ヒロハイヌノヒゲ	23	363	ミチバタガラシ	19	123
ヌマガヤ	24	378	ヒロハノコヌカグサ	23	366	ミツバウツギ	20	170
ヌマガヤツリ	24	416	ヒロハノドジョウツナギ	24	374	ミノコバイモ	23	339
ヌマダイコン	22	282	ヒロハハナヤスリ	18	10	ミヤコアザミ	22	310
ネッコイノデ	18	44	フウトウカズラ	19	103	ミヤコヤブソテツ	18	32
ノウルシ	20	159	フウラン	25	460	ミヤマクマワラビ	18	37
ノカンゾウ	23	340	フウリンウメモドキ	20	167	ミヤマコウモリソウ	22	291
ノグサ	24	426	フクオウソウ	22	308	ミヤマシケシダ	18	51
ノコギリシダ	18	53	フクロシダ	18	55	ミヤマトベラ	20	149
ノジギク	22	296	フサスゲ	24	407	ミヤマナミキ	22	250
ノシラン	23	348	フサナキリスゲ	24	414	ミヤマネズミガヤ	24	379
ノダケ	21	187	フサモ	20	184	ミヤマノキシノブ	18	57
ノタヌキモ	22	270	フジウツギ	22	254	ミヤマノコギリシダ	18	46
ノニガナ	22	303	フジキ	20	146	ムカゴソウ	25	455
ノハナショウブ	23	353	フタバアオイ	19	106	ムカゴニンジン	21	194
ハイホラゴケ	18	14	フタバラン	25	458	ムギラン	25	438
ハクウンボク	21	210	フッキソウ	20	172	ムクゲシケシダ	18	49
ハグロソウ	22	266	フトイ	24	430	ムクロジ	20	165
ハコネシケチシダ	18	48	フナ	19	67	ムサシアブミ	24	390
ハコネシダ	18	18	フナバラソウ	21	218	ムサシモ	23	331
ハタザオ	19	118	ベニイトスゲ	24	412	ムヨウラン	25	456
ハバヤマボクチ	23	319	ヘラノキ	20	174	ムラサキ	21	234
ハマウツボ	22	268	ホウライカズラ	21	211	ムラサキセンブリ	21	214
ハマウド	21	188	ホガエリガヤ	23	368	ムラサキミミカキグサ	22	273
ハマエンドウ	20	151	ホクチアザミ	22	309	モミジガサ	22	289
ハマゴウ	21	236	ホシクサ	23	361	モリアザミ	22	294
ハマハナヤスリ	18	9	ホソバオオアリドオシ	21	225	モリイバラ	20	141
ハマビシ	20	158	ホソバシユロソウ	23	352	モロコシガヤ	24	384
ハマボウフウ	21	191	ホソバチナンショウ	24	387	ヤシャゼンマイ	18	12
バライチゴ	20	143	ホソバノヤマハハコ	22	284	ヤチスギラン	18	3
ハリマノフサモ	20	182	ホソバヘラオモダカ	23	321	ヤドリギ	19	73
ハリマナムシグサ	24	389	ホッスガヤ	23	369	ヤナギスプタ	23	326
ハンカイソウ	22	305	ホンゴウソウ	23	335	ヤブレガサモドキ	23	318
ハンゲショウ	19	102	ホンジャクナゲ	21	201	ヤマカシュウ	23	350
ヒカゲツツジ	21	203	マキエハギ	20	153	ヤマグルマ	19	84
ヒカゲヒメジソ	21	242	マツカサススキ	24	428	ヤマサギソウ	25	464
ヒカゲワラビ	18	52	マツバラソウ	18	1	ヤマシグレ	24	278
ヒキノカサ	19	94	マツブサ	19	83	ヤマジスゲ	24	398
ヒキヨモギ	22	262	マツムシソウ	22	279	ヤマジソ	21	243
ヒゲアブラガヤ	24	431	マネキンジュガヤ	25	435	ヤマジノギク	22	299
ヒゲシバ	24	385	マメスゲ	24	411	ヤマタツナミソウ	22	249
ヒゴスミレ	20	178	マメツタラン	25	437	ヤマトキソウ	25	467
ヒツジグサ	19	101	マヤクサイチゴ	20	142	ヤマトミクリ	24	393
ヒトツボクロ	25	470	マヤラン	25	446	ヤマドリゼンマイ	18	11
ヒトモトススキ	24	415	マルバウツギ	20	131	ヤマヒョウタンボク	22	275
ヒトリシズカ	19	104	マルバオモダカ	23	322	ヤマホオズキ	22	252
ヒナウチワカエデ	20	164	マルバノイチヤクソウ	21	198	ヤマホロシ	22	253
ヒナザサ	23	371	マルバマンネングサ	20	127	ヤリハリイ	24	420
ヒナノカンザシ	20	162	マルミスプタ	23	324	ユウスゲ	23	341
ヒナノジャクジョウ	23	356	マルミノヤマゴボウ	19	77	ユキグニミツバツツジ	21	204
ヒナノボンボリ	23	357	マンネンスギ	18	4	ユキザサ	23	349
ヒナラン	25	436	ミカツキグサ	24	423	ユキモチソウ	24	391
ヒメアブラススキ	23	370	ミカウシンジュガヤ	24	433	ユキワリイチゲ	19	88
ヒメイタビ	19	72	ミカワタヌキモ	22	271	ヨウラクラン	25	461
ヒメカンアオイ	19	107	ミクリ	24	392	ヨツバハギ	20	155
ヒメガクビソウ	22	293	ミシマサイコ	21	189	レモンエゴマ	21	244

レッドデータの詳細情報

神戸版レッドデータ2015の詳細情報はホームページで公開しています。詳しくは神戸市環境局のホームページをご覧ください。

URL: http://www.city.kobe.lg.jp/life/recycle/environmental/tayosei/rd/red_data_top.html



神戸市 環境局 環境保全部 自然環境共生課

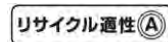
〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1

TEL:078-322-5316 / 078-322-6069

E-Mail:kankyo_sidou_joho@office.city.kobe.lg.jp



古紙パルプ配合率100%再生紙を使用



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization

City of Design
KOBE

Member of the UNESCO
Creative Cities Network
since 2008

神戸市広報印刷物登録 平成27年度第691号(広報印刷物規格A-1類)